臺灣日日新報
本日四頁

インパール平地に進撃

カーサ周邊 敵空輸部隊を包圍

【東京發至急報】大本營發表（昭和十九年三月二十八日十七時二十分）

緬甸方面目下の戰況次の如し

一、北部緬甸方面の我が軍はフーコン地區より侵入せる重慶軍新編第一軍の二個師及米英聯合約二個旅團をモーガウン西北方地區に邀撃中なり、又カーサ周邊地區に降下せる敵空輸部隊に對しては目下包圍壓縮中なり

二、中部印緬國境方面の我が軍はチン丘陵及カボウ谿谷附近に於て包圍せる英印軍第四軍團主力に對する攻撃を續行すると共に主力を以てインパール平地に進撃中なり

三、南部印緬國境方面の我が軍は英印軍第七師團主力殲滅後更に同方面に侵出し來れる英印軍主力に對し反撃中にしてカラダン河谷方面西阿第八十一師團に對する攻撃と共に戰況有利に進展しつつあり

敵は三個旅を降下

我軍包圍大半を殲滅

【ビルマにて鈴木報道班員二十七日發】去る五、六兩日の夜大膽不敵にも敵は東部インドの東方より輸送した空輸部隊三個旅團兵力約五千をイラワジ河上流カーサ附近へ降下せしめ、北ビルマに反攻を試みて來たが、敏速果敢なる我が同方面部隊はビルマ國軍並にビルマ民衆の協力を得て直ちに敵降下部隊を包圍しその行動を封じて次々その戰果を擴大し既にその大半を撃滅し密林內に潜入した敵殘存部隊に對しては引續き掃蕩を斷行中である

【ビルマ○○基地二十七日發同盟】北部ビルマ前線カーサ東南三十キロ並にモーニン東方四十キロの地點を中心、降下せる敵グライダー降下部隊に對し我がビルマ方面陸軍航空部隊は敵基地攻撃並に殺到する敵機の邀撃戰に赫々たる戰果を擧げすと同時に、その餘力を以てグライダー部隊を攻撃、十日以降左の如き熾烈なる攻撃を反復してゐる、即ち去る十日夕刻我が新鋭戰爆聯合の隊は風雪を衝いて突如カーサ東南方の敵集結地帶を攻撃、急造の飛行場周邊のジャングルに潜む敵兵に對し猛烈なる銃爆撃を敢行して全機悠々歸還、翌十一日未明我が戰爆連が再びカーサ東南方に出撃、退路並に周邊に巨彈を命中せしめて敵の企圖を事前に破碎した、十三日午後我が隼の隊は大型輸送機を[illegible]モーニン東方の敵急造飛行場を攻撃、[illegible]してその六機を血祭りにあげるとともに猛烈なる敵砲火を冒して同飛行場にあつたスピットファイヤー十四機、グライダー十二機に對し銃爆撃を反復敢行しグライダー四機を爆破して歸還した、更に十四日未明我が戰爆連合の一編隊はモーニン敵飛行場を攻撃その滑走路に全彈を命中せしめて歸還すれば同時に他の新鋭爆撃隊はカーサ東南方の敵飛行場を攻撃必殺の巨彈を連續投下してこれを徹底的に潰滅せしめ全機歸還した、明けて十六日我が戰爆連合の精鋭部隊は僚翼を張つてモーニン飛行場に殺到在空中の敵スピットファイヤー十六機と同飛行場上空に空中戰を展開その一機を撃墜し四機を撃破するとともに滑走路を火網に捕捉して全機歸還した、十七日午後には我が新鋭戰爆隊は雲霧を衝いてモーニン飛行場に進攻上空に邀撃せる敵スピットファイヤー十機と交戰忽ちにしてその三機を撃墜するとともに猛烈な對空砲火を冒して對地攻撃を敢行、小型機四機、グライダー一機を炎上せしめるとともに附近の燃料集積所を炎上せしめた、この攻撃における我が方の損害は自爆一機であつた、又十八日未明我が戰爆隊は雲霧を衝いてモーニン飛行場を攻撃、[illegible]むジャングル地帶を猛爆、三ケ所を炎上せしめ引續き同飛行場には我が急降下爆撃隊が殺到[illegible]して巨彈を投下三箇所以上を炎上せしめて歸還した、同日午後[illegible]聯合の大編隊は同飛行場上空に出撃、全彈を滑走路に命中せしめるとともに[illegible]附近の地上銃砲陣を敢行一ケ所を炎上せしめて全機歸還した、かくて[illegible]らする我が猛攻の前に敵降下部隊を完全に孤立せしめてゐる

敵廿師團は斷末魔

【緬印國境○○にて中島、有村兩報道班員二十七日發】タム周邊の敵[illegible]部隊は二十一日朝タム南方の敵飛行場に殺到、敵機五機を炎上せしめ完全にこれを占領、カバウ谷地における敵空軍の基地を封殺するに至つた、一方タム西北方でわが部隊は退路を求めてタム方面より西方に向つて移動中の自動車約一千輛、戰車二十輛を有する強力なる敵に二十六日果敢なる猛撃を敢行、肉彈戰をもつてこれに壊滅的打撃を與へた、又タム市街はわが巨彈を浴びて數箇所に火災を起し敵第二十師團主力は炎々たる火焰の中に斷末魔の足搔きを續けてゐる

航空總監後宮大將

軍事參議官 安田中將

航空士官校長 德川中將

陸軍省發表

【東京發】陸軍では航空決戰の熾烈化の一途を辿りつつある現戰局に對處すべく航空關係首腦部の異動を斷行、二十八日左の如く發表した、即ち參謀次長後宮淳大將が陸軍航空の總帥たる航空總監並びに航空本部長に親補され安田前航空總監は軍事參議官に親補され、同時にわが陸軍航空の長老たる德川好敏中將が陸軍航空士官學校長に起用された、又防衛總司令部參謀長たりし小林淺三郎中將は前航空總監部參謀長佐野忠義中將の[illegible]に伴ふ後任として防衛總參謀長に補せられた、後宮參謀次長の航空總監親補は今や決戰兵器として戰局の帰趨決定に重大なる樣相を見るに至つた航空關係の最高指導を同大將の下に一元化し強力なる運營を期したものであつて航空本部長兼補とその狙ひを一にして居り、德川中將の航空士官學校長、小林中將の防衛總參謀長補職と相俟つて陸軍航空關係首腦部最強の陣容が固められたと云ふべきである、尚右異動と同時に塘眞策少將の廣島師團兵務部長補職が發令された

陸軍省發表　三月二十八日

今般左の通り發令せられたり

軍事參議官兼參謀次長
陸軍大將　後宮淳
兼補陸軍航空總監陸軍航空本部長

陸軍中將　安田武雄
補軍事參議官

陸軍中將　男爵　德川好敏
補陸軍航空士官學校長

陸軍中將　小林淺三郎
補防衛總參謀長

陸軍少將　塘眞策
補廣島師團兵務部長

世紀の一大攻勢

チンドウィン渡河成功記

【インド前線○○飯岡、井野、小森、俵田報道班員二十二日發】今ぞ三色旗が日章旗とインドに歸へる日は來た、祖國獨立の念願に燃ゆるインド國民軍と大東亞建設の歴史的使命を荷ふ皇軍との密接なる協同作戰の下に今こそ待望のインドに堂々の進撃を敢行したのである、記者等は大東亞戰局の將來を占ふ決戰下より一大攻勢に參加した[illegible]を記録する今次作戰に從軍し目の辺り皇軍勇士とインド國民軍將士の勇ましい姿を見た、感激した竹小屋の中で[illegible]の光が僅かに[illegible]てゐた、その[illegible]の周りに向ひ合ひ一枚の地圖を中心に[illegible]入るやうな眼差しで見入りつつ深夜一時部隊の渡河の成否を[illegible]○○部隊長と○○部隊長の姿があつた、三月十五日二十一時三十分を期して一齊に行はれる中部緬印國境チンドウィン河渡河戰の歴史的時間が一秒一秒と迫つてゐた、二十一時三十分「前面敵情異状なし渡河準備は[illegible]」の報告が相次いで入つて來てから暫く時間が[illegible]やうに感じられた、だがもの三十分も經つてゐなかつた、二十一時四十五分「第一線部隊は[illegible]」の[illegible]てインド國民軍の渡河完了と第一線部隊から嬉しい報告が次々齎されて來る、部隊は敵の虚を衝いて完全に奇襲無血渡河に成功したのだ「部隊長お目出度う御座います」「うむここで大丈夫だ」[illegible]部隊長と參謀と兵に包まれて行つた、そして此處にも「將兵と參謀と兵」の嬉しい[illegible]が見られた、部隊長から直ちに第一線部隊長に「渡河成功に際し各部隊の[illegible]なる努力を多とす、今や[illegible]完遂に邁進すべし」との命令が傳達された、今チンドウィン河渡河戰は[illegible]もいふべき一大奇襲作戰だつた

虚を

衝いて渡河を決行したもので、此の渡河作戰に從つた工兵隊の勞苦は並々ならぬものであつた、二方面から一齊に[illegible]渡河を敢行し早くも無血渡河にインド進攻の火蓋を切つたのであつたしかも當日は[illegible]のため一時三十五分の月の出まで一時間をとなつて敵前に發見されなかつたのも天佑であつた、月が出てから渡河完了まで[illegible]十數艘の舟艇を[illegible]せる[illegible]が鳴つた、敵は[illegible]を[illegible]かせて地獄の使者のやうにチンドウィン河上空に飛んで來た、「[illegible]」と兵隊は笑つた、月光下敵の見えない大空に向つて銃が注がれた、空襲下にも[illegible]の河岸を休みなく往復してゐた、それから[illegible]に飛び下りた兵隊達に[illegible]

砂濱

に[illegible]を上げて[illegible]滑り込む砂を[illegible]上げて後から後からと附近のジャングルに消えて行つた、渡河は豫定より二時間も早く完了、六時四十分には既に第一線部隊は[illegible]を占領した、[illegible]間道といふ間道、[illegible]馬路といふ[illegible]馬路を通つて一齊に猛進撃が開始された、行手には北から走るアンゴー山山系と南から走るミンタミ山山系のジャングルに包まれた峻嶮な山又山が[illegible]つてゐた、[illegible]は完全に[illegible]を失つたものの如くグルカ兵を主力とする○○名で[illegible]抗を試み[illegible]して[illegible]つて[illegible]の進撃を[illegible]第一線部隊に從いて[illegible]いた兵隊達、[illegible]大[illegible]の荷物を背負んだ午後、[illegible]隊が[illegible]つたやうな[illegible]を運んで行つた、[illegible]五、六貫もある[illegible]

禿鷹

のやうに[illegible]物を探す[illegible]た[illegible]がグット頭を下げて[illegible]をした、或ひはマフラーを[illegible]至五十米の[illegible]で[illegible]目だけが激しい[illegible]に[illegible]がては汗と埃に真黒に汚れ、ただ[illegible]ひ擦つて行つたがや[illegible]も躓いてどさりと倒れては膝を強[illegible]るた、一寸した石ころや木の根にたる[illegible]を浴びて重い足を引づつて[illegible]つた悪路を一米先も見えない漆々一帶につけた兵の道は全く[illegible]

ヤン・デリー」（デリーへ）の[illegible]聲も勇ましく前進した、山又山を越えて某谷地に進出した、今次[illegible]兵は太平洋方面の皇軍勇士[illegible]の[illegible]に悲壯の肯を決し「さうだ我々の[illegible]と[illegible]も大きいが[illegible]に重い、我々がインドで[illegible]つことはインド獨立を[illegible]させるばかりでなく大東亞[illegible]戰爭に[illegible]て[illegible]を[illegible]利に導く[illegible]大なる[illegible]を持つてゐるのだ」勇士達は[illegible]大[illegible]心を安んじ[illegible]ん事を誓つた、斯くして[illegible]一丸となつた皇軍勇士と國民軍に[illegible]の如く[illegible]國境に殺到し、第一線部隊はインド國民軍と共に十九日西進、遂に國境を突破インド[illegible]士に[illegible]の第一歩を[illegible]し[illegible]いて[illegible]を[illegible]してゐるのである

輸送挺身隊の苦心

【緬印國境前線○○松田、有村兩報道班員二十五日發】中部緬印國境に展開された敵英印軍第十七師の殲滅戰は作戰地域が[illegible]なるチン高地だけに各參加部隊も多大な[illegible]を克服しなければならなかつた、中でも長期間の行軍に要する彈藥糧秣の心配は一層ひどかつた○○部隊の彈藥と○○日の糧食は期間の長引くにつれ缺乏を告げて來た、糧食は予定量となり三分の一定量となり遂には一日分を五日に喰ひ延ばす事もあつたが彈藥は使ひ延ばす事が出來ない、そこで有ゆる危險を冒してこれを輸送する挺身隊が組織された、チン高地に活躍した第一線に續く輸送挺身隊の務めは實に目覺ましかつた、前線部隊で缺乏を告げる彈藥を補給すべく命を受けた○日密林中の集積所に至り後退を開始した、月のない密林の中はそれこそ手探りでなければ歩けぬ漆黑の闇だ、蠟燭を頼りに出發だ、闇の夜は敵機の飛來が少く、久振りに前面燈を點けて走る、その度にパンクを心配し[illegible]車が大きく飛上る、ひどく傾斜する、だが道路の惡さは[illegible]以上だ[illegible]高地に走り上つた、屈折の多いこの陣地の山道は敵も小型自動車のみしか走らせなかつたのだ、未完成の道路がある、片面の崖を[illegible]た[illegible]の道は狹い、崩された岩面が所々斷崖に觸れる、[illegible]ゐたい道は自動車の重量でめり込みさうになる、各車輛から降りた兵が前後して誘導する、やつと難路を通過し終る、夜明けだ、チン丘陵の[illegible]は寒い、運轉臺にゐても冷えて來る、早く遮蔽物のある地點につかねば白晝敵の目標となる恐れがある、九時頃漸く朝日の射る頃部隊が小休止してゐる密林を見つけて此處で大休止だ、この頃から敵機が飛び始めた、小癪な戰鬪機が頭上を飛去つた、木の葉の[illegible]つてゐる密林を見れば[illegible]で[illegible]るのだ、[illegible]から[illegible]を乘出してゐる乘員の姿が時々樹間に見える、過ぎ去つた後水のある場所で携行食を焚いて夕夜になると出發だ、暗夜の行動でも車上の對空監視兵は緊張して飛行機の爆音を捉へようとする、自動車のエンジンの音を間にこれを聞き分けるのは不可能だ、しかし訓練された兵隊さんはそれをなし遂げるのだ

歡喜の國民軍本部

【インド○○基地長谷川報道班員二十六日發】「ツザ・バード」の歡呼の雄叫びが雨のやうな乳白色の朝霧を打破つて二十四日朝インド最前線○○の山氣を破つた、國民軍の[illegible]の[illegible]だつたインド國民軍の歷史的な祖國進撃の朝發表された東條首相の談話を突破してから幾度となく聞いたインド國民軍の喜びの「萬歲」であつたが、記者は二十三日夜つての猛進撃に綿のやうに疲れ果てた血まめの足を引摺つて國民軍本部を訪れた、何時の間にかお馴染になつた勇士達は記者を發見すると再び銃を[illegible]して獨立萬歲を[illegible]呼した、[illegible]から小走りに出て來た國民軍○○部隊長は相好をすつかりくづして大きな手を差出し、力強く記者の手を握り[illegible]に[illegible]れた記者の[illegible]を抱きこむやうにするのだつた、ちやうど國境突破の[illegible]における感激のやうに、これこそ○○部隊長は何も記者の手を放さうともせず「祖國が吾々の手に戻りました、占領地下の行政が吾々の手に委ねられた」と通譯の口を[illegible]るのも、もどかしげに叫び續けた、[illegible]の[illegible]ながら日本[illegible]が[illegible]かれないのが[illegible]つ[illegible]うれしいらしく、記者は彼等の素朴[illegible]な[illegible]を見ながらつくづくと皇國に生れた有難さを感じたのだつた、日本語の上手な國民軍勇士達は兵[illegible]んを捕まへて「ジザ・バード」を繰返し東條さんの溫かい[illegible]明に心から率直な[illegible]心をぶちまけてゐた

首相に感謝

ボース氏祝電

【東京發】東條首相宛臨時[illegible]はインド國民軍が皇軍と相攜へてインド國境を突破、祖國に向つて[illegible]進撃を開始したに際しボース[illegible]に宛て誠に懇切なる祝電を寄せレインド國民軍の勝利を確信すると共に帝國はインド國民軍が共同の敵米英を打倒してインド[illegible]の[illegible]を達成する日までありとある[illegible]を與へる[illegible]を[illegible]右祝電を[illegible]した

ボース首班は二十六日折返し東條首相宛左の[illegible]電を寄せた[illegible]

余はインド國民軍の祖國進撃に對し閣下の[illegible]を示され[illegible]れたる[illegible]に深く感謝[illegible]、大日本帝國と共同の敵米英打倒の共同目的達成のため大日本帝國の[illegible]に[illegible]を[illegible]る[illegible]に對し不[illegible]は[illegible]下の[illegible]に對しインド民衆及インド國民軍に代りて[illegible]を表明、尚この機會に於てインド國民軍は最後の勝利[illegible]まで大日本帝國軍と一[illegible]して[illegible]を[illegible]に[illegible]のなり

自由インド假政府主席
兼陸軍大臣
スバス・チャンドラ・ボース

大日本帝國總理大臣兼陸軍大臣東條英機閣下

來襲十機を屠る

ラバウル

【ラバウル二十八日發同盟】ラバウルに對する敵の來襲は連日執拗を極めてゐるが、二十五日晝間には戰爆連合[illegible]など延べ百七十三機來襲、我が所在部隊はこれと交戰、その四機を撃墜、六機を撃破した、地上損害は輕微であつた、二十六日晝間にも戰爆延べ六十七機來襲したが我が所在部隊は果敢にこれを邀撃した

カビエンに六十機來襲

【ラバウル二十八日發同盟】二十六日午前ニューアイルランド島カビエンに敵戰爆連合約六十機が來襲わが所在部隊はこれと交戰[illegible]した、わが地上損害は輕微であつた

ボナペ島來襲

【中部太平洋○○基地二十八日發同盟】二十五日晝間カロリン群島ボナペ島に敵中型機二十一、大型機二十一が來襲、わが所在部隊はこれと交戰中型機一機を撃墜した、更に翌二十六日朝にも大型機十七機が來襲、中型機十三、小型機三がこれを邀撃空中戰により[illegible]の一機に黑煙を吐かせて撃退した、同日

スマトラにも來襲

【昭南二十八日發同盟】二十六日深夜スマトラ島西南端シメウル島上空に敵四發大型機一機が來襲した、所在部隊はこれと交戰撃退した、わが方被害なし

カビエンにて四機を屠る

【ラバウル二十七日發同盟】二十五日朝ニューアイルランド島カビエンにダグラス急降下爆撃機SBD・ボートシコルスキー戰鬪機F4Uなど約三十機が來襲、所在部隊はこれを邀撃、SBD三機を撃墜、F[illegible]一機を撃破した、わが方の地上の損害は輕微であつた

尾崎中佐に對し感狀授與式

【○○基地二十七日發同盟】二階[illegible]進級の栄に輝く尾崎中佐に對する感狀授與式は二十七日午後五時から○○基地において擧行された、○○部隊長は坂川部隊長に感狀を傳達した後、尾崎中佐の武勲を讃へて全員尾崎中佐に續けと激勵した

夜間空中戰に大戰果

獨空軍百十二機を撃墜

【ベルリン二十五日發】二十四日夜英空軍は久振りでベルリン大空襲を加へたが、ドイツ戰鬪機部隊はこの頃から天候は明天に變つた、ドイツ戰鬪機部隊はこの好條件を利して敵重爆ばかりを狙ひ執拗に集中猛攻を繰返した、斯くて北ドイツの海岸地帶に逃走したが、[illegible]はこれを追つて英重爆大編隊が西日は空襲隊の眞美であつたが、敵以來の最高記錄百十二機を確認した、この夜間空中戰における戰果は、今まで判明したところでも敵四發重爆撃機百十二機を撃墜し右の如き記錄的大戰果が擧げられたのであるが、このことは歐洲航空決戰の進展に重要な示唆を與へるものと言へよう、即ち前明の[illegible]地方からベルリン市の上空にかけシュレスウイヒ・ホルシュタイン[illegible]て壯絶な大夜間空中戰は展開され[illegible]ドイツ本土上の制空權は既にドイツ空軍の手中にあり英空軍[illegible]はドイツ航空戰力が逆襲の[illegible]で急激に消耗しこの結果、反撃[illegible]を[illegible]したかの如く主張して來たが、今回の大戰果の示すは斯る[illegible]を見事に粉碎した、と英國側の[illegible]

[illegible]二十日間にドイツ空軍の防衛戰果が殆り芳しくなかつたのはその戰力の低下を意味するものではなくとかはつきりと實證された譯であ[illegible]る、百十二機と言ふ敵の損失は現在まで確認された數字に過ぎず[illegible]を受けて基地に歸還した」と報じてゐることから判斷してもその損害が莫大であつたことが推定されるる、これに加へていはゆる「[illegible]の損失」は常識的にも[illegible]の五郎とされてゐるから今回の空中戰で敵の總損失は少くとも百六十機を越えるであらうし、その損失率は二十乃至二十五パーセントに達すると見られる、これに反してドイツ側の損失は[illegible]の說明に依ると五分にも及ばず乘員の損失は僅に一分二厘だけであると言はれる

獨軍猛反撃

東部戰線戰況

【ベルリン二十六日發同盟】DNB通信記者ハンメル大佐は二十六日東部戰線各地の戰況を次の通り報じてゐる

一、赤軍攻勢の重點プロスターカ[illegible]大部隊の移動が見られるのは注目に値ひし同方面で敵は新たな作戰を企圖してゐると解される

一、一方中部地區モギレフ東方においても過去數日來強力な赤軍が集結されつつあつたが果して二十五日これ等赤軍步兵十箇師戰車二箇旅團を以て攻撃を加へて來た、赤軍の攻撃は次から次へと繼き終日激戰が展開されたがドイツ軍は二箇所における赤軍の突出部を除去し赤軍一部隊を包圍殲滅した

一、有力なるドイツ空軍部隊は前進中の赤軍及び砲兵師團の補給線路に攻撃を加へ赤軍の飛行機二十八機を撃墜した

[illegible]と[illegible]ノポリの中間地帶においてはドイツ軍防禦[illegible]擊退[illegible]に成功しその他の[illegible]戰車、[illegible]部隊を[illegible]し[illegible]城を南方へ向つて進出を企圖した赤軍の主力目標は明かにこれ[illegible]地區にあり[illegible]地區から更に南部戰線のドイツ軍補給線を寸斷しようとする企圖と示せられるこの方面における赤軍の攻勢に比較すれば東部戰線の他の地區における作戰はさして重要でなくニコラエフからコヴェリに至る全地區における赤軍の攻勢はプロスターカ、タルノポリを結ぶ線から南方及び西南方へ向つてドイツ軍陣地を突破しようとする赤軍の作戰を掩護するのが目的である、但しコヴェリとプレプロリトフスク東南方との中間地域において最近赤軍

獨軍バルチ市撤收

【ベルリン二十六日發同盟】獨軍當局はベッサラビア戰線の獨軍がバルチ市を撤收した旨二十六日發表した

プロスクーロフも

【ベルリン二十六日發同盟】獨軍當局は東部戰線の獨軍がプロスクーロフ市を撤收した旨二十六日發表した

獨潜印度洋に活躍

【ベルリン二十七日發同盟】ドイツ潜水艦は遠く東亞水域まで出動して反樞軸兵站線に多大の脅威を與へてゐるが、ドイツ軍當局の言明によれば反樞軸作戰強化に狼狽し印度洋における盟邦船舶の運航を著しく強化したと傳へられる

十五隻を撃沈

獨逸軍發表

【ベルリン二十五日發同盟】ドイツ軍當局は二十五日次の通り言明した

ドイツ潜水艦は地中海において反樞軸商船船舶十隻、護送中の六千噸驅逐艦及び護衛用驅逐艦五隻を撃沈した

協議會長、監理部長初顔合せ

【東京發】政府は去る十四日地方行政協議會長を地方行政協議會長に任命し地方[illegible]を[illegible]による戰力增強措置を斷行したが二十七日の定例地方行政協議會長並に監理部長との初顔合せとして大臣會議を首相官邸に參集、東條首相外各大臣を始め九地方監理部長は午前十一時首相官邸に參集、東條首相外各大臣と懇談、地方行政の綜合運營に關する諸問題、特に[illegible]下の生產增強達成に[illegible]する[illegible]事務に[illegible]し意見を交換し正午散會した

定例地方參事官會議

【東京發】三月の定例地方參事官會議は二十八日午前九時から內相官邸に[illegible]最近地方行政狀況の說明、石炭配給、勞務動員など[illegible]的行政事務が增強されたので、これが運營方法につき檢討した、午後[illegible]に移り、[illegible]局長、[illegible]局長を中心に食糧の增產供出につき[illegible]、午後は一時より防空本部上田總務局長を中心に疎開事務について、同三時より文部省及び厚生省中村[illegible]局長以下出席勞[illegible]につき協議打合せを行ひ同五時散會

定例閣議

【東京發】二十八日の定例閣議は午前九時より宮中に開催、石渡藏相より

一、[illegible]及び[illegible]決定につき說明聽議決定した

一、[illegible]決定二十七日の次官會議において決定した

一、河田光貫運輸[illegible]に關し五島運通相より詳細報告し十一時四十分散會した

二割增送を目途

四月より陸運非常增送期間

【東京發】運通省では昨年陸運の一割增送期間を設け戰時重要物資の輸送に當つて來たが、三月末をもつて右期間を終了すると共に時局の進展に伴ひ陸運に課せられた使命は益々重要となつたのに鑑み今回四月一日より明年三月三十一日までの一年間を非常增送期間として二割增送を目途に國鐵を始め地方鐵軌道、小運送、自動車運送其の他陸運諸機關を總動員してこれが實現を期する事となり、二十八日右に關する實施要綱を發表したが、この期間中に反此優秀なる運送者には表彰の方法を講ずる事となつてゐる

實施方法

一、各國所にて夫々適切なる目標を定めその達成に最善の努力を拂ふ、毎目標達成の上は更に次の目標に向つて邁進す

二、本省から指示する共同目標に對しては關係箇所に協力してその達成を期す

三、業務內容及陣容に檢討を加へて目標達成を阻害する原因を探究して除去の方法を講ず

四、增送運動に徹し相互協力の緊に必勝輸送を完遂す

五、各部署の幹部は率先陣頭指揮を行ひその責任において本運動を指導す

六、成績優秀なる者に對しては表彰の方法を講ず

七、陸運協力會、鐵道軌道統制會日本通運、全國運送業組合聯合會、全國自動車運送事業組合聯合會、全國旅客自動車運送事業組合聯合會、全國貨物自動車運送事業組合聯合會その他陸運關係者は國有鐵道と一體となり本運動を展開す

獨軍强力な防塞

三谷大使地中海を視察

【ヴイシー二十七日發同盟】ヴイシー駐在三谷大使は海軍武官沼田少將と共に最近フランス地中海沿岸のドイツ軍防衛施設を視察した、陸軍[illegible]沼田武官はドイツ陸軍[illegible]司令官の午餐會に出席したが、大使は特に次の通り所信を披瀝した

地中海沿岸要塞を視察する機會を得てドイツ軍が過去一ケ年半の間に地中海沿岸に努力を防塞を構築し反樞軸軍が上陸作戰を企圖しようとも何時でも撃破する態勢を整へたことを確信するに至つた、反樞軸軍が如何に多少の成果を收めたとしてもドイツ軍の強力を突破することは出來ない、苦く且つ長い日、獨兩國民は離るべからざる合作の下に最後の[illegible]に向つて[illegible]り、日本國民にドイツ軍の[illegible]を[illegible]して[illegible]ない

建甌飛行場を爆撃

敵施設を微塵に粉碎

【○○基地二十八日發同盟】我が陸軍航空部隊は[illegible]二十七日敵建甌飛行場に[illegible]、[illegible]十二日の[illegible]に[illegible]上空にて[illegible]の[illegible]を[illegible]に[illegible]した、[illegible]の飛行場に[illegible]撃した、この[illegible]で[illegible]の[illegible]方の損害[illegible]した

人事

▲吉田一郎氏（日本アルミ、[illegible]社長）[illegible]
▲三吉丈夫氏（臺灣製糖常務）二十八日來北（吉家）
▲岩田房氏（臺灣火災[illegible]監査役）
內地へ
▲增田次郎氏（[illegible]社長）上京

けふの官報

▲勅令　[illegible]に施行する法律の[illegible]に關する件▲省令　[illegible]登記取扱手續[illegible]▲告示　[illegible]

感冒
肺炎の
濕布に
簡便・爽快
長時間有効

特徵
一、使用法簡便にして非常に爽快なる事
一、皮膚炎を起す等の副作用なし

本劑は專らその藥効並に持續時間の永續に留意して製造せるものにして用法も至極簡便安全なる粉末濕布藥なり

主治効能
感冒、肺炎、肋膜炎、氣管支炎、扁桃腺炎、中耳炎、ロイマチス、腕經痛、打撲痛、捻挫等

約四－五時間の交換が適當なり

粉末エキホス

包裝
一〇〇瓦
二五〇瓦
五〇〇瓦
一瓩

A-PE33.1ST

胃酸過多症
中毒・下痢・異常醱酵に

本劑は獨自の作用により過剩胃酸の胃壁に及ぼす刺戟を遮り腸中有毒物質を吸着せしむ。

適應症
胃酸過多症
異常醱酵
中毒・下痢

新發賣
モルダ

[illegible]

包裝　百五十瓦

社會新外內　京東・阪大

外傷
扁桃腺炎に

ピオギロン液は
刺戟と副作用無く
優秀効果を擧ぐ

適應症
外傷（切傷、火傷、凍傷）丹毒、癤、癰、外耳炎、白癬、扁桃腺炎

包裝
二五瓦　六〇
一〇〇瓦　二〇〇
五〇〇瓦　七五〇

スルフオンアミド液劑
外用
ピオギロン液

大阪
東京
丹平商會

NP-31

社説　樂勝を希ふものに間隙あり

敵米英の將兵には精神病患者が續出してゐるといふ事實は物量を恃む戰法を暴露するものである。戰爭が物量のみを以て總てを決定するものにあらずといふ現實に直面して敵米國は其の[illegible]ものあるが戰爭に於ける理外の理に就いては[illegible]精神力を以て決するといふことに物量依存の米國も漸く目が醒めた觀がある。斯くて國內戰線には[illegible]の指導が行はれ、對外的には[illegible]なる思想謀略がある。都市に於ける流言の如きも思想戰の一環として國內戰線の攪亂を狙ふのであるが國內戰線に於ける警戒の徹底は彌が上にも嚴重でなければならぬことは申すまでもない。

◇

然るに直接の敵の謀略に因るにあらずして戰時生活への急角度の切換に伴ひ[illegible]に關聯して囁くべき流言が國民の極小部分の間にでも流行することがあるとすればそれは國內における利敵行爲として嚴に戒めなければならぬ。戰爭は武力戰に於ても經濟戰に於ても思想戰に於ても勝ち拔かなければ最後の勝利は得られない。此の理は前の歐洲大戰に於て幾多の教訓が示されてゐるのであるが英國が戰爭に於て九十九まで敗けても最後の戰ひに勝てばよいとなす態度の如き、圖太いと言へばそれまでだが、然し他山の石として之を見るべきものがある。或は不撓不屈の敢闘精神であり所謂『負けたと思つたときが負けた』といふことは特に總力戰下に於て銘記すべきことである。[illegible]

新規八億一千餘萬圓
新年度第一四半期の起債計畫

【東京電話】大藏省では二十七日起債計畫協議會を開き十九年度第一四半期（四月－六月）の起債計畫額を決定、新規發行額を八億一千七百萬圓と決定した、起債計畫が四半期一期において八億圓を超えたのは異例に屬するが十九年度第一四半期起債計畫額が特に膨脹を見たのは政府出資金を社債に振替へたものが相當あつた事によるものである、而してこれが消化割合について見るに官廳その他特殊方面においては總額の四割（前年度同期三割三分五厘）を引取る事とし一般市場への壓迫緩和に意を用ひてゐる、又起債額を業種別に見ると軍需會社債は前年度同期に比し相當增加してゐるが一般會社債は減少、滿洲、支那關係債については出來得る限り現地資金の調達に俟つ事とし相當額を現地において發行せしめる方針をとつたためこれ亦減少を見た

臺北通信協力會創立
通信圓滑化と防諜に協力

臺北通信協力會は臺北商工會議所を中心とし府遞信部後援の下に設立に關する諸般の準備を進めつつあつたところ會則原案の作成、役員の銓衡等準備全く完了したので二十八日午前十一時より臺北鐵道ホテルに於て設立總會を開催、交通局より副見總長、伊藤遞信部長、[illegible]課長、[illegible]管理課長外關係官、菊池憲兵[illegible]代理官、平井臺北憲兵分隊長、熊谷臺北市長並に[illegible]より[illegible]會員たる民間側より木村商工會頭、國際電氣通信久松臺北支社長外會員たるべき國策會社、重要商社の代表多數出席して先づ國民儀禮の後、議事に入り會則、事業計畫を[illegible]決定の後、副見交通局總長の祝辭あり終つて本會今後の運營等に關し會員の隔意なき意見を交換、正午散會した、尚本會事務所は臺北商工會議所內に置き四月一日より事務を開始することとなつたが本會の會則並に役員氏名は左の通り

臺北州通信協力會會則

第一條　本會は臺北州通信協力會と稱す

第二條　本會は事務所を臺北商工會議所內に置く

第三條　本會は通信の圓滑化と通信防諜に協力するを以て目的とす

第四條　本會は前條の目的を達成する爲左の事業を行ふ

一、大東亞地域との電報の時局取扱に關する事項

二、前號に關する政府當局への[illegible]に關する事項

三、其他本會の目的達成に必要なる事項

第五條　本會は臺北州、新竹州、臺中州及花蓮港廳に於ける交易業者、海運業者、銀行、新聞社、通信社、[illegible]等にして本會の趣旨に賛同したるものを以て組織す

第六條　本會に入會せむとする者は所定の入會申込書を本會に提出し其の承認を得るを要す

第七條　本會に左の役員を置く

會長　一人

理事　若干名

監事　二人

第八條　會長は理事會に於て理事中より之を選任す

理事及監事は總會に於て會員中より之を選任す

第九條　役員の任期は二箇年とす但し再任を妨げず

補缺のため選任せられた役員の任期は其の前任者の殘存期間とす

第十條　會長は本會を代表し會務を總理す

會長事故あるときは會長の指名したる理事其の職務を代理す

理事は會長を補佐し會長の命を承け會務を執行す

監事は會務の執行狀況及會計狀況を監査す

第十一條　本會に[illegible]若干名を置く

第十二條　本會に顧問及參與若干名を置くことを得

顧問は理事會の議を經て會長之を推薦す

參與は理事會の議を經て會長之を委囑す

顧問及參與は會長の諮問に應ず

第十三條　本會の事業年度は毎年四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る

第十四條　本會の經費は會費及其の他の收入を以て之に充つ

第十五條　本會の會費は一口年額百圓とす

第十六條　毎年一回定時總會を開き會務の報告をなし且つ事業計畫を議定す但し會長必要ありと認めたるときは臨時總會を招集することを得

第十七條　本會の議決は出席會員の過半數を以て之を定む

第十八條　本會則の變更は總會の議決を經て之を行ふ

附則

本會則は昭和十九年四月一日より之を施行す

會長　臺北商工會議所會頭　木村泰治氏

理事　國際電氣通信臺北支社長　久松[illegible]介氏

同　[illegible]　鈴木[illegible]氏

同　[illegible]　横山保一氏

同　[illegible]　市來[illegible]氏

同　[illegible]　小川[illegible]氏

監事　[illegible]　有田勉三郎氏

同　[illegible]　[illegible]氏

綜合供出制を要望
物價統制協力會議・政府へ建議

【東京電話】中央物價統制協力會議では食糧配給制の改善による國民生活確保の緊急性に鑑み「現下物價統制の立場よりみたる食糧品配給方策」を決定、二十七日政府に建議した、要旨左の通りである

[illegible]

食堂車は廢止
急行列車區間も改正　四月から

[illegible]

決戰下の本島水産（5）
水産物の配給統制
府水産課　滿尾　屬

一、水産物配給統制の必要性

[illegible]

二、鮮魚介配給統制の概要

[illegible]

三、現在に於ける配給方法

[illegible]

四、現行配給統制の隘路

[illegible]

五、隘路打開の方途

[illegible]

六、鹽干魚介藻類の配給統制

[illegible]（完）

勤勞に勵む原住民學童

[illegible]セレベス全面に[illegible]「勤勞の歌」を口吟みながら今や原住民[illegible]これに呼應して市內公學校では從來なかつた手工の課目を新たに設け[illegible]

【寫眞は　上　手拭細作り方を習ふ男子學童　下　帽笠の作り方を習ふ女子學童】

甘藷增產へ採種圃二千甲步（新竹州）

[illegible]

石炭統制を强化
軍需省　石炭配給調整規則制定

[illegible]

國民軍緬印國境突破
ビルマの使命愈々重大

大東亞建設展望

[illegible]

ビルマ第一線政策の强化

[illegible]

ラウレル大統領の決意實踐

[illegible]

金融對策今後も繼續
石炭會社、增炭に協力

[illegible]

東西時事　剝げる鍍金

[illegible]

商銀萬華出張所支店に昇格

[illegible]四月一日より支店に改める

田畑賣買價格
最近は漸減の趨勢示す

[illegible]內外地の價格趨勢を示せば次の通りである

內外地田畑賣價格趨勢（圓單位）

地域別	田畑別	單位	十三年	十四年	十五年	十六年	十七年
內地	田	一反	五九〇	五六六	六〇七	七〇〇	八〇〇
	畑	同	四〇三	四〇三	四二一	四九七	五九九
朝鮮	田（水田）	百坪	六二	七二	八三	八八	八五
	畑（田）	同	三一	三五	四四	三三	四〇
臺灣	田	一甲	二、四七〇	二、五〇三	二、八〇四	三、三九一	三、一六三
	畑	同	一、五四四	一、六九一	一、八〇四	一、六九九	一、六二五

（備考　一反は三〇〇坪、一甲は二、九三四坪）

本島鐵鋼部門視察
日鐵顧問　山縣愷介氏近く來臺

[illegible]

國家資金調查規則要綱

[illegible]

切手貯金は今月限り

[illegible]

屛東の農民指導員講習會

[illegible]

飛機獻金に二千圓

[illegible]

臺北州自動車運輸總會

[illegible]

臺北州陶商奉公團企業整備懇談會

[illegible]

農業會第二回委員會

[illegible]

市況（廿八日）

兜町前場況

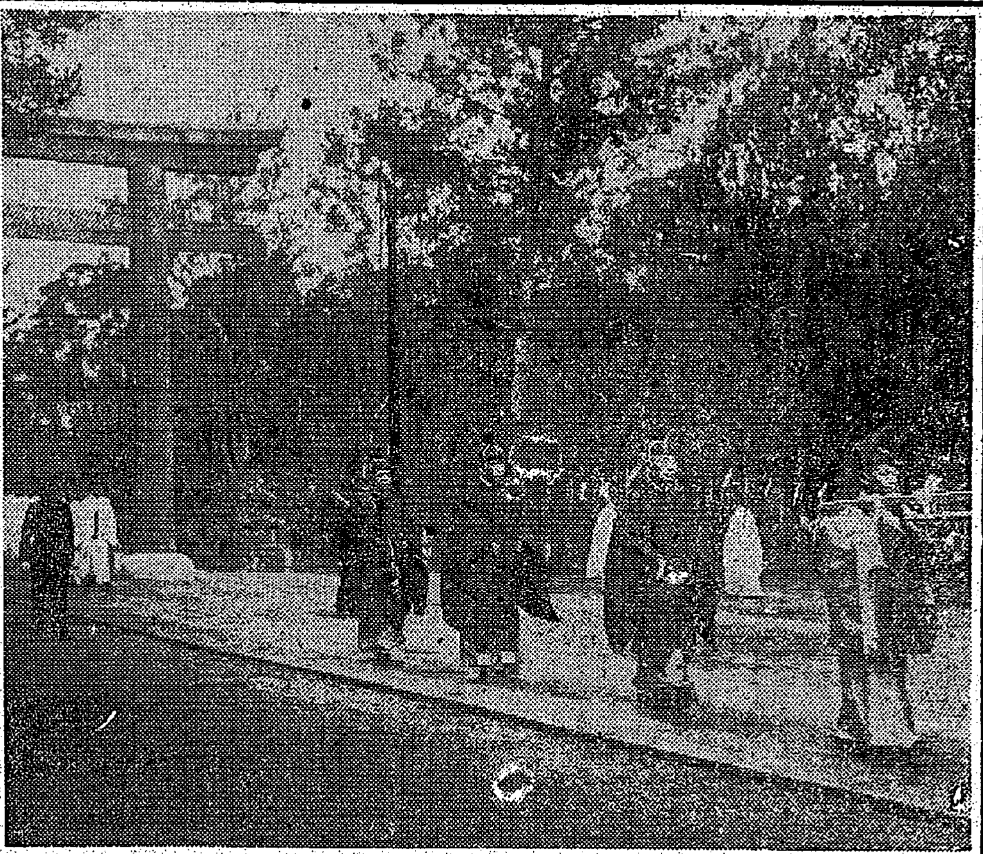
[illegible]

東京長期前場

[illegible]

東京國債實物

[illegible]



嘉義神社、國幣小社列格　奉告祭嚴かに齋行はる

長谷川勅使、御祭文を奏上す

【嘉義電話】嘉義神社の國幣小社列格奉告祭は同神社と最も縁りある佳き日、二十八日をトし午前十時から嚴かに齋き行はれた、嘉吉の聖戰完遂へ、戰力增强の一路に邁進しつゝある臺南州百二十萬州民がひとしく敬神崇祖の赤誠を捧げまつる神社待望の祭典だけに、ことよくも嘉義神社は[illegible]流れ造りの新社殿は春光に映えて神々しく清く掃き清められた大前には[illegible]旗や五色絹がはためく、かくて參列の文武官民三百餘名は[illegible]參集、やがて定刻十時祭典開始の神饌が[illegible]々と高らかに[illegible]く中を勅使長谷川總督は黑褂の衣冠に威儀を正して幣帛を奉じ、[illegible]柴山社務[illegible]長をしたがへて參向、手水、修祓の儀ののち[illegible]々と昇殿中門前所定の座に進めば長東宮司は、これより祭典を始める由を勅使に報告、かくて高く低く寄せらるる[illegible]に長東宮司は[illegible]のオー、オーの聲も嚴かに御扉を開き奉つて御に[illegible]せば、神職により海川、山野、くさぐさの味物が供せられる、次で宮司神前に參進、[illegible]かに祝詞を奏上し、終つて[illegible]員は唐櫃より幣帛を出し奉つて[illegible]に安上におく、宮司これを神前に奉れば、長谷川勅使は[illegible]々と神前に進み香吐朗々と御祭文を奏上、大命を奉じて國幣小社列格を正式に告げ奉り併せて皇室の御繁榮と國民の[illegible]え行くことをこひ祈り奉つたのち、柴山隊員より玉串を受けて、これを神前に奉つて拜禮、宮尾臺南州知事、土光州[illegible]部長、本田嘉義市長、文官總代諸方[illegible]、地方法院長、武官總代、民間總代等次々に玉串を奉じて拜禮、參列文武官民も、これに合せて拍手の音も高らかに[illegible]拜禮、宮司以下神職の拜禮[illegible]つて再び[illegible]き上る奏樂裡に神饌を撤し、閉扉の御儀あつて同十一時十分、ここに祭典を滯りなく終了した（寫眞は勅使長谷川總督參向）

決戰の春慶祝の民

・その日嘉義市内の賑ひ

【嘉義電話】國幣小社嘉義神社の列格奉告祭が執り行はれた廿八日朝、よく清掃された參道の玉砂利を踏みしめて、先づ心身の[illegible]を淨ませた參列員の群が通つた、それから勅使を奉じた勅使の一行が過ぎた、神社に通ずる榮、北門、宮前通りに堵列して勅使を奉迎した十一萬嘉義市民の奉祝の念は此の時一段とかき立てられた、去る一月二十四日木の香も高い新本殿に御祭神を移し奉らせてから満二ケ月、今日二十八日、[illegible]な決戰下に[illegible]ら奉祝の熱意を盛り上げた奉祝塔の常緑木の色、[illegible]々に家々に揭げられた奉祝提灯や日章旗の色が美しい、正午近く奉告祭を済ませて勅使が退下した、堰を切つたやうに參拜者の群が神社へ[illegible]社へと流れ出した、之等の人々は神殿に額き、眞心こめて[illegible]申上げ、境内一杯に[illegible]揭げられた[illegible]、大弓、武道等の奉祝催し物に[illegible]此の日一日は奉祝の一色に彩られてゐた

航空機動力を發揮

中華、日航兩小隊に表彰狀

【東京電話】陸軍の航空輸送に挺身[illegible]の貢獻を爲した民間航空會社が陸軍航空本部長から初の表彰を受け二十七日その表彰狀授與式が擧行はれた、榮えの表彰を受けたものは中華航空株式會社加賀小隊（長＝加賀[illegible]助）及び大日本航空株式會社細川小隊（長＝細川[illegible]）で航空輸送業務の促進を圖るため長期に亙り南方第一線方面に挺身する[illegible]の中に敵しつつ克く小隊長を核心として[illegible]、常に天候氣象の惡條件を克服し航空の[illegible]力を遺憾なく發揮し多數[illegible]の[illegible]務を完遂し[illegible]の戰果を收め航空作戰遂行に多大の貢獻を致してゐるのである、これは實に小隊長指揮統率宜しきを得るとともに隊全員がよく[illegible]心戮力孜々とし已むことなく專心任務の遂行に邁進してゐる證左であり、その燃ゆる[illegible]な愛國[illegible]念と强靱不屈な敢鬪精神とは航空輸送業務に任ずるものの龜鑑である、式は午後二時から航空本部で行はれ寺田總務部長、航空本部員田中少將以下立會の下に安田航空本部長から中華航空の加賀小隊（加賀氏は南方に勤務中のため田中少將が代理で受領）に表彰狀を次で大日本航空の細川小隊細川隊長に表彰狀を授與した

敵機來らば一擊と銃把を握る　我が勇士（陸軍省報道部提供）

サツと繰出す竹槍

敵の一人や二人は必ずやつつける

臺北市役所女子職員　敵擊滅へ錬成

エイツヤツオー、エイツヤツオー……と米英必殺の敵愾心をひしひしと感ずる……の氣合が流れてくる、

裂帛　折柄のふりそそぐ陽光に竹槍の柄がキラキラと輝やく、これは臺北市役所で二月九日より開始された女子職員竹槍訓練錬成會の一齣である、銃後を守る女子職員戰士はひたすら自分の職域に全力を盡す事は勿論肝要なのであるが"今は決戰の秋です、敵米英兵の一人や二人は私達だつて屠せます"と竹槍の一刺に胸中にみなぎる敵愾心と自分達の住む本島を完全に護りぬかうとする熱心をこめて錬成に錬成の一時間を毎日毎日くり返してゐるのである、敵英米鬼畜の[illegible]ほとばしる

氣合　と共に數十本の竹槍がサツ、サツとくり出される、凄々しい白鉢卷の額からは汗がタラ、タラと流れるかうして女子職員は日、一日と逞しく錬成されて行くのであつた、この錬成會終了後文書課の田谷[illegible]子さん杉田[illegible]子さんの二人に錬成の感想を聞けば一時間の錬成に頰を紅潮させて

"最初の頃は持ちなれぬ竹槍と自分の身長より長い事で相當苦勞しました、然しもう三週間になりますから今では自分自身でも不思議な程操法が自由に出來て自信が出來ました、もし私達が印度國民軍の女子部隊のやうに銃を執つて前線へ出るやうな事があつたとしましたら、あの憎い米英兵の一人や二人必ずやつつけますよ、それから毎日の汗を流す一時間、これ程楽しい事はありません、必ず敵米英に勝抜く日までやり通したいと考へて居ります"

と立派な言葉であつたが佐々木文書課長に錬成の出席率をきけば

九十……%は下つた事なくまた全女子職員が勵められて出席するのではなく自分達から進んで出席して呉れるので女子職員の決戰意識が如實に示されて大いに[illegible]する

その他[illegible]しくなつてゐるとの事であつた【寫眞は錬成する女子職員】

須田農商局長南下

海軍特別志願兵訓練所第一期修了式に總督代理として須田農商局長が臨場するが、同局長は佐多[illegible]を[illegible]へ三十日夜行で南下、二日朝の急行で歸北する

優良店員表彰

【臺中電話】臺中商工會議所では三十一日午前十時より同所會議室にて優良店員三名並びに十年以上勤續の店員[illegible]三十名の表彰式を擧行する

野菜配給＝諸報告

學徒の訓練方針打合す

皇奉部長會議

皇民奉公會中央本部の定例部長會議は二十八日午後二時から本部會議室に國方新任錬成部長を始め戰時生活部長、總務、訓練、戰時生活各部次長並に參事等二十三名參集の上開催、近藤總務部次長から新任國方錬成部長の紹介あつて後、大澤戰時生活部長の司會で先づ國民[illegible]部から[illegible]保險加入運動を四月[illegible]會に追加申合の件を附議決定、次いで臺北市内の野菜需給關係の現狀につき大澤部長よりかねて市支會長と連絡をとり來つた市價を述べ臺北市支田[illegible]課長から野菜の配給狀況と州外よりの供給は將來も望み少くよつて市では約五百甲[illegible]の野菜作地を設定今後一箇月を期して急速に供給出來るやうに努力しつつある旨と厚生部の部支會長が野菜供出につき同方面の上[illegible]的に説明する旨の報告あり、更に野菜不足の原因につき、臺北州農林課下斗米技師よりも説明あり今後の對策として益々空閑地の利用と闇取引の嚴重な取締り及供出し部隊の擁護等について隔意なき意見の交換をなし、次いで皇奉本部としては政府の非常措置に順應して[illegible]利用の實施要領が出來てゐる旨を述べ其の內容を説明、次いで五十君參事から[illegible]において[illegible]生存する父母、祖父母のみの國語力[illegible]べを[illegible]、女子が國語力に於て最も劣つてゐる點を述べ將來指導上の參考とされたき希望あり又[illegible]訓練部次長から工場從業員の現場錬成の必要なることとこれに依る能率增進の實例とを説明更に愛馬の日に於ける諸行事、奉公用品[illegible]に合せ運動の[illegible]、[illegible]の必要な[illegible]等の報告あつて後、國方錬成部長から大東亞戰爭と學徒の持つ使命並に訓練による民防空の徹底化、學徒に對する一貫せる敎練訓練これと能力增强との結び付、特に我國民學校の精神力の練磨等につき抱負を擧げて訓練方針につき感想を述べ同四時散會した

勞務管理合宿錬成會大成果を收む

【花蓮港電話】花蓮港廳主催の勞務管理者合宿錬成會は、去る二十三日以來二日間花蓮港高砂寮に[illegible]て朝夕の神前行事に皇國臣民錬士としての事をしつかと探究し、又產業戰士の部隊長としての資質を日中の錬成、軍事敎練等に依つて鍛錬陶冶する等、其の他勞務管理に關する學科時局講話等を終始熱心に受け多大の成果を收めて過般閉會したが參加の管理者五十名は新たに戰力增强への逞しい[illegible]力を身內にたぎらせて夫々の職場へと歸つた

父兄との面會

支障ない限り許可す

陸軍諸學校

【東京電話】陸軍各部隊及び諸學校の營內居住下士官以下並に生徒に對する父兄その他近親の面會が全面的に禁止されることになつたかの如き噂が出てゐる樣であるが陸軍においてはそのやうな考へは全然持つてをらず却つて近親との面會等の接觸においてこそ部隊の美風も醸成され且つ士氣の鼓舞激勵にも資する所となるので教育訓練等に支障のない限り[illegible]、[illegible]と近親との接觸の機會を與へる方針で二十八日この旨各部隊各學校に對し陸軍省から通牒を發した

臺中市參事會

【臺中電話】臺中市では三十日午後一時より市會議室に於て市參事會を招集追加豫算の件を附議する

洋紙配給組合解散　一萬圓飛行機獻金

臺灣洋紙配給組合は去る廿五日臺北公會堂に於て臨時總會を開き先般新に臺灣洋紙配給株式會社が創立されたので發展的に解散する事に決議した、同組合の解散記念として金一萬圓を飛行機獻金として陸海軍に夫々五千圓づつ寄贈した

敵の狼狽歷然

英印軍十七師殲滅戰の跡

【緬印國境前線〇〇松田、有村報道班員二十四日發】ティデイムを本據としてビルマ奪回を呼號してゐた敵英印軍第十七師團は既に全く潰滅された、二十三日我々は硝煙未だ消えぬ同方面戰場を訪れたこの附近の生々しき敵の陣地は我が砲彈の威力によつて破壞され、その殘骸を晒してゐる、レーシ少將以下我が包圍陣內にあつて退路を求めてもがき拔けた慘狀振りがまざまざと見える、敵の自動貨車、砲、銃器等が山をなして放棄され慌てた敵が丸腰となつて命からがら逃げのびた形が判つた、ティデイム周邊のジヤングル內には[illegible]がうよくしてゐる、この陣地附近にインド國民軍は勇敢に戰つてきりその銃砲聲が聞えて來る、ティデイム街の周邊は我が砲擊で山火事を起し慘憺なる戰場の跡さが漂つてゐる、ティデイムとその前衞陣地の間は見事な道路が敷設されてあつた、捕虜こてない[illegible]が所によれば自動車が三臺並行して走れる程の幅がある、曲り角はすべて勾配をつけて走りよくしてあり、山から谷を越して又山へと登つてゐる、敵が我が部隊に包圍され飛行機によつて彈藥を補給してゐたが鐵條網の片隅に白いテープで物料投下の陣地が造られてあつた、ティデイムの東寄り斜面には野戰病院が立並んでゐるが既に敵によつて荒されて衣、食料等一面に散亂、又喰ひ退した缶詰の空罐等が見苦しいまでにちらばつてゐる、水のないこの街に敵は遠かの谷から三段にして山上に水を汲み上げ、これを二十尺四方もある布製の水槽に貯めて隧道で道路まで導き給水車に汲み入れてゐたものであるが今は十七師團潰滅の慘跡を秘めて哀れを留めてゐる

教育內容を刷新

官立專門校全般的に改稱

【東京電話】文部省では既報の專門學校の各分野に亙つてその敎育內容の刷新改善を圖るため研究を重ねて來たが、この程全般的な成案を得たので去る一月發表した高等學校並に女子の專門學校轉換と相俟ち四月の新學期から實施することになつたが、官立專門學校の名稱變更につき二十八日その全貌を文部省から發表した、それによると從來用ゐられてゐた高工、高農、高商等の名稱は總て專門學校たることを端的に示す名稱に改められた、例へば高等工業學校は工業專門學校に、高等農林學校は農林專門學校、高等水產學校は水產專門學校、高等獸醫學校は獸醫畜產專門學校にそれぞれ改稱されると共に東京及び京都の高等工藝學校は[illegible]上既に工業生產に必要な技術敎育を施してゐるが、更に强化を圖る必要上工業專門學校と改め、千葉高等園藝學校は園藝科、農科に最近國際化學科を設置してゐるので農業專門學校とし、高等蠶絲學校は[illegible]と蠶絲の不離一體の敎育を目的に[illegible]、[illegible]高等[illegible]學校は[illegible]敎育內容が纖維產業一般に關する敎育を包含するやう改組されてゐるのでこれを纖維專門學校とそれぞれ改稱、又高等商業學校は經濟界の決戰的進展に即應し、敎育內容の刷新充實を圖るため經濟專門學校に改め、外國語學校は外國語地域の民族及び政治、文化、經濟等の全般に亙る事情と民族言語とを一體的に敎育する必要があるので外事專門學校の名稱を冠する

次に東京高等齒科醫學校は今回新たに醫學科が併設され東京醫學齒學專門學校として發足、齒科醫師にして醫師たらんとするものの敎育をも併せて行ふことになつた、更に先般「敎育に關する戰時非常措置方策」の閣議決定に基き彥根、和歌山、高岡三高商を轉換、工業專門學校とし長崎、名古屋、橫濱の三高商の轉換により勤勞管理、作業管理、原價計算等に十分なる知識技能を持つ優秀な工業經營者の養成を圖るため新たに工業經營專門學校三校を創設する、この外[illegible]、熊本に官立醫學專門學校が創設され[illegible]から[illegible]の[illegible]定である

今回の專門學校の轉換の特長はその敎育內容が眞に皇國未曾有の危局に即應せることであつて從來徒らに多岐に亙つてゐた專門敎育を整備統合簡素化し工業、農業、醫學等要務における技術者としてわが國家高度の[illegible]を[illegible]げる點にある、なほ工業二十七校の內秋田鑛山、北大附屬土木專門のみ[illegible]稱の儘であるが工業は十四校が工業專門學校に、商業は十一校が經濟專門學校に、東京商大附屬專門部は工業經營專門部に改稱された外新設門部（工專を含む）六校、九州帝大、東京工大に附屬工專をそれぞれ新設する

岡部文相談

政府は曩に敎育に關する戰時非常措置方策を樹立しこれが實施に鋭意努力してゐる次第であるが今回勅令の改正に依り官立專門學校につき理科系專門學校の擴充增設、文科系專門學校の理科系への轉換等その重要なる部分が茲に實現される事となつた今次の改正に當り最も大切な事は[illegible]皇國の使命を體し[illegible]を通して皇國の敎育を[illegible]と實踐力とを有つ事であり、この信念と實踐力とを涵養する事こそわが國敎育の本旨とする所でなければならない、專門學校敎育の目的も亦茲にあり、文部省においては專門學校敎育の全般に亙り十分なる檢討を加へこれが刷新改善を圖つて來たが、その結果各種專門學校の目的使命を明かにし從來徒らに複雜多岐に亙つた學科及び各課目を整理統合し簡素にして强力なるものとし又時局の要請國運の進展に即應したる新しき敎育內容を盛つた次第である、又この度の改正に依り大部分の專門學校の名稱が變更されたのは專門學校敎育が大學敎育とも中等學校敎育とも異なる獨自の敎育分野を有する事を明かにせんとするのである、專門學校敎育が技術本位に偏する事なく常に皇國の道に則り道義精神に徹し智心兩面に亙つてその目的を顯示する事に力め大いに能力の增强に努し益々國家に貢獻せしめんとする次第である

家政科講習修了式

【花蓮港電話】[illegible]花蓮港支部では二十七日午前十時より、矢上部長臨席の下に花崗山[illegible]に於て第七回家政科講習會修了式を擧行した

海軍武官府扱ひ獻金

臺北在勤海軍武官府へ寄託の獻金—

◇今春卒業及修了の記念として海軍武官府に寄納された金額は二千八百十一圓五錢で三十三件（以上は三月一日より二十四日現在分）

◇海軍甲種飛行豫科練習生合格記念として差出されたもの

臺北市川端町一四〇[illegible]（[illegible]）同京町一ノ五二石上[illegible]一（[illegible]）同[illegible]三山口安吉（[illegible]を獻納）同下奎府町三ノ五[illegible]（入[illegible]に際し、一人丁の同期[illegible]に託したもの）同幸町五〇[illegible]（[illegible]）（以上[illegible]）

素人演劇發表會

【臺中電話】臺中州支部では[illegible]山漁村民の健全娛樂として[illegible]山漁村民自らの手による素人演劇の獎勵を積極的になして來たが二十九日午後一時より臺中座に於て[illegible]素人演劇發表會を開催し先立ち先づ午前九時半から同座にて皇軍將兵の慰靈祭を行ふことになつてゐる

坂田氏出發

【花蓮港電話】花蓮港廳[illegible]課長から南方司政官に轉出した坂田寅吉氏は二十七日朝官民多數の見送りを受け壯途、任地へと向つた

パゴダを日本に建立

盛大・奉遷式擧行

善男善女引きも切らず

【ラングーン二十八日發】前ビルマ政府最高顧問櫻井兵五郎氏始め日本のビルマ關係者はビルマにおけるパゴダを東京に建てることをバー・モウ國家代表の賛成を得着々具體化されてゐたが東京に建立するパゴダに奉安すべき佛舍利もビルマ全土から集りその奉遷式が二十七日シユエダゴン・パゴダに於て盛大に擧行された、花飾るては王朝時代の[illegible]で參拜の善男善女引きも切らぬ中に奉遷式は敬虔な儀禮の流れに從つて始まり一同これに唱和した後佛舍利に色とりどりの南國の花を供へる供花の事がパゴダの中を一巡し終る頃盛裝したバー・モウ國家代表以下各大臣並に初代自由インド地方長官チヤタジー中佐などが拜禮し終つて堂內に着座すれば[illegible]顧問官[illegible]長ウ・デン、バンドラ・ウ・セイン首相は交々「我々は與へられた日本の絶大な支援の感謝として今茲に我々のなし得る最大の表現をお贈りする」と日緬兩國の緊密なる提携について挨拶した

喜び語る櫻井代議士

【東京電話】ビルマの象徴で知られたラングーンのパゴダは暴戾な米英機の盲爆に遭つて破壞され全ビルマ人の憤激を買つてゐたが曩にビルマ政府最高顧問櫻井兵五郎代議士は佛を通して日緬親善を圖りなほ貴重な歷史的建物が一箇所にあつて散逸し又は灰燼に歸したりする事を惜み日本にもビルマにあるパゴダと同樣なパゴダを建立しようと決意偶々昨年十一月大東亞會議にビルマ國家代表バー・モウ氏が來朝したのを機會に熟議を遂げその賛成を得て佛舍利の奉遷の方法とかパゴダ建立の形式について實現の具體化を急いでゐた、櫻井代議士のこの熱意がビルマにもたらされるやビルマ全土からは忽ち多數の佛舍利が寄せられ廿七日には更にシエダゴン・パゴダでバー・モウ國家代表その他顯官列席の下に奉遷式が擧行され間もなく日本に屆けられる、パゴダ建立については櫻井代議士は次の樣に語つた

パゴダは佛舍利と共に間もなく日本に到着することでせう、東京に建立することは最終的には決定しておりません空襲の恐れのない然も歷史的な場所を選びたいと考へてゐます、ビルマの精神を象徴するパゴダが日本にも建立されれば日本のビルマ理解といふ點から見てもビルマに親しみを感ずるといふ點からも非常に役立つことでせう、そして佛舍利を通して日緬親善に多少でも貢獻出來れば私としてもこんな嬉しいことはありません

カボチヤ增產

主要食に援軍

【東京電話】農商省では主要食ともなる上耕地も要らぬ南瓜を新に主要食の援軍として盛り出すこととなり、その全國大規模[illegible]を全國的に實施することとなつた、南瓜は素人でも作れる手頃の作物で他の作物の[illegible]か[illegible]作物の[illegible]に耕地も要らず[illegible]や[illegible]土手などどんな狹いところでも[illegible]が出來る上に一本の苗から一貫目も大量にとれ主要食としては二貫目もあれば米一升分とも匹敵し澱粉としても十分役立てられるので同省では[illegible]地帶として一萬五千町歩住宅の周邊、庭、公園その他空地への栽培[illegible]として四萬町歩の增產を目標にこの[illegible]配給より各地方長官宛[illegible]的增產の指令を發したが計五萬三千町歩からは大體十三億貫がとれる見込みで種苗は東京都が近く全市各戶に種子を無料配布するが行くゆくは全國に及ぶはずである

防護團猛訓練

【花蓮港電話】花蓮港特設防護團では此の程[illegible]村の手押ポンプを入手したので、二十六日常備消防部員を[illegible]に班長の消火訓練を實施二十七日よりは市街の各町に班長の[illegible]を行つて各家防空陣を布き[illegible]防護の[illegible]を[illegible]める

本島出身金山君又獻金

大阪在住の本島出身者金山友吉氏はかつて二回に亙つて國防獻金又は恤兵金として百五十圓を長谷川總督宛で託送して來たが、今回更に航空獻金として獻金の一部にされたいと五十圓を總督宛に送つて來たので總督府では直に海軍武官府へ獻金方を依頼した

内地だより

國民學校が作業場

【東京電話】[illegible]

在のもの

◇始めてのお給金の全部を獻金[illegible]（一女子）[illegible]二十二圓四十九錢也、專賣局（二女子）[illegible]田勝[illegible]二十一圓六十八錢也

◇與民新聞を配達して[illegible]いたお金を獻納

◇卒業及修了記念として獻納されしものの詳細

臺北市[illegible]山國民學校代表[illegible]四百七十二圓臺北市師範學校研究科第二回修了生一同、二百五十圓同女子部本科並講習科第一回卒業生一同、二百九十二圓臺北第一高等女學校第三十八回本科卒業生第三十七回專攻科修了生一同、五百圓臺北第二高等女學校第二十回本科卒業生第一回專攻科修了生一同、三十五圓臺北第三高等女學校卒業生一同、四十二圓[illegible]女學校卒業生[illegible]子外三名、五十圓同[illegible]子、四十圓臺北[illegible]卒業生一同、百圓私立愛育幼稚園卒業兒一同、二百八圓三十二錢臺北市圓山國民學校修了生一同五十八圓七十二錢、臺北市宮前國民學校六年三組修了生一同、十一圓四十五錢同六年五組修了生一同、十八圓五十五錢同六年一組修了生一同、十七圓五十錢同六年四組修了生一同、三十七圓五十錢同六年[illegible]十圓臺北市老松國民學校昭和十八年度修了生一同、四十圓同高等科二年イ組修了生一同、百圓臺北市永樂國民學校第九回修了生一同、二十四圓五十八錢同六年第二組修了生一同、五十圓臺北市[illegible]山國民學校修了生一同、百五十圓同六學年[illegible]組一同、[illegible]圓臺北市日新國民學校初等科第二四回高等科第九回修了生一同、百七十九圓五十錢臺北州七星郡士林國民學校昭和十八年度修了生一同、二十八圓六十六錢同社子國民學校六年一組修了生一同、百十三圓新竹州新竹郡[illegible]國民學校第四十四回修了生一同、五十七圓五十五錢同[illegible]國民學校高等科二學年一同、八十六圓同第六學年[illegible]一同、十六圓同第六學年竹組一同、百圓臺北市東門町第一區[illegible]子供會、[illegible]十五圓臺北市[illegible]第三回卒業生一同、五圓臺北州海山郡板橋街江子翠[illegible]永元、五圓二錢臺北第二高等女學校第四學年松組卒業生一同、十二圓七十錢臺北第二中學校第五學年乙組第一八回卒業生一同、以上三十三件、金額合計四千八百十二圓五錢也

女子を通信要員に

[illegible]會合に於け三月上旬より[illegible]の決戰突破態勢をとり[illegible]送られ、怒れと一心不亂、敢然を[illegible]かにすることは出來ないので交代制でやつてゐるが[illegible]が濟むと作業場に[illegible]けつけるといふ盛況さである

【金澤電話】金澤[illegible]では昨年來同部內の防空通信要員の一部に女子を採用[illegible]意外の好成績を收めたので今度全員を女子に切替へることとなりこの重責を擔つた地元女性を發奮させてゐる

男禁制の不用品百貨店

【岡山電話】岡山縣倉敷市では四月早々市內三ケ所に不用品百貨店を開店する、この百貨店は市內各戶必ず一點以上の不用品を持寄りお互ひに交換して物資の活用を圖る目的だが男子の入場は[illegible]となつてゐる

自轉車で動く消火ポンプ

【東京電話】病弱のため飛行機の列から退いた一青年が飛行機の空冷式エンジンから暗示を得て自轉車に取つけペダルの回轉によつて水を噴出する消火ポンプを發明した、これは東京都下[illegible]區原本町の藤口[illegible]男君（二二）で飛行機エンジンにガソリンが吸込まれる性能を巧に水に切替へたポンプとしては全く新しい分野を開拓したものである

會葬御禮
山田惠之介
外親戚一同

會葬御禮
宮崎忠一
外一同

父徳次郎儀病氣療養中ノ處藥石效ナク二十八日午前四時三十分死去致候間此段謹告仕候
追而告別式ハ[illegible]
昭和十九年三月二十九日
男子　伊藤徳弘
親戚總代　柚木幾太郎
村上一
花岡信肇
[illegible]總代　伊藤俊逸

第四期決算公告
[illegible]
昭和十九年三月二十八日
臺灣農事株式會社

無料決戰服裁斷
四月一日ヨリ向フ一箇月間
新起町二ノ九五　市場ウラ十二號
更生服相談所

[illegible]
昭和十九年三月二十九日
保證責任千歲建築[illegible]組合

[illegible]
南邦交通株式會社

株式名義書換停止公告
[illegible]
昭和十九年三月二十九日
日東鑛業株式會社

株式名義書換停止公告
[illegible]
高砂農產株式會社

株式名義書換停止公告
[illegible]
昭和十九年三月二十九日
大和物產株式會社

今日の映畫
大世界　29日マデ
台[illegible]劇　5日マデ
新世界　29日マデ
芳乃館　30日マデ
芳明館　29日マデ
城南映劇　20日マデ
萬華劇場　31日マデ
太平館　29日マデ
第三世界　31日マデ
中央劇場　29日マデ
基隆世界　30日マデ
旭劇場　1日マデ
大和劇場　30日マデ
羅東座
宜蘭座　31日マデ
昇平座　31日マデ
宜蘭合同興業會社
國際館　29日マデ
基隆劇場　29日マデ
新竹の映畫
新竹劇場
有樂館　30日マデ

生徒募集
女子事務員短期講習（夜間）
新設　基隆女子職業補導錬成所
開設四月中旬　入學資格國初卒修業年限一ケ年
財團法人私立基隆商業專修學校

タイピスト及女事務員採用
高女卒業程度本人履歷書携帶來談
臺北市[illegible]
臺灣和紙配給組合

紙芝居脚本募集締切延期廣告
敬米並ニ米增產ノ趣旨徹底ニ資スル紙芝居脚本ノ募集締切期日ハ昭和十九年三月末日ノ處都合ニ依リ昭和十九年四月三十日迄延期ス從ツテ發表ハ五月中ト致シ候ニ付此段廣告候也
高雄州產業部農水產課

支店開業廣告
今般華南[illegible]出張所ヲ支店ニ改メ來ル四月一日ヨリ預金、貸出、爲替其他一般銀行業務ヲ取扱可致候間何卒倍舊御引立御利用ノ程御願申上度此段謹告仕候
昭和十九年三月二十九日
株式會社臺灣商工銀行

母辻重井儀病氣療養中之處養生不相叶二十七日午後四時五十分死去仕候ニ付生前辱知諸彥ニ御通知ニ代へ此段謹告仕候
追而告別式ハ[illegible]
昭和十九年三月二十八日
臺北市[illegible]
男子　辻兵[illegible]郎
柏田喜代藏
高見覺之進
井尻[illegible]
中島義嶺
小平德雄
松田文三
堀內角雄
東城[illegible]彥

闘ふ産業戰士激勵

電撃視察の長谷川總督

【嘉義電話】嘉義神社の國幣小社列格祭に勅使として參向、嘉義の大任を無事果した長谷川總督は旅館[illegible]で小憩後午後一時半、安住秘書官、坪田部員、及び小澤地方課長、田中嘉義郡長を從へて宮尾臺南州知事、本田嘉義市長等の同道に依り旅館を出發、先づ中林[illegible]工所に到り所長中林[illegible]一氏から概況說明を聽取した後、[illegible]工場長の案内でベルトの唸り[illegible]え、鐵の火花飛び散る工場内を一巡、所によつて鋭い眼光的確に注意を與へ、[illegible]れつつ黙々として總力戰體制に邁ふ產業戰士を激勵感激せしめ終つて工場長[illegible]三郎氏より概況說明を聽取したが、總督は會社の製品其の他に付いて此處でも熱心に質問を連發し、一同を感激せしめた、斯くて工場内に足を踏み入れたが日常紙屑や空罐の[illegible]等自分には不用なものとして捨てて顧みなかつたものが紙として再生して行く工程を熱心に視察した後臺灣[illegible]工場に到り、社長[illegible]田正典氏より會社の概況に付いての說明を聽き、終つて工場内を熱心に視察し工場に敢闘する工員を激勵、それより木造船工場の現場に到り、本田嘉義市長より工場内容の說明を聽き、近く完成される本工場の現狀を視察した後、旅館[illegible]に入つた

"七ッの海を制覇"

海軍特志　修了生體驗發表大會

【新竹電話】目下歸鄕中の海の戰士一回海軍特別志願兵訓練所修了生を迎へて新竹市並びに新竹郡では二十七日午後一時より有樂館に於いて市內第一部生徒約一千名を集め海軍志願兵體驗發表大會を開催した、先づ國民儀禮の後、水崎市長より『七つの海を制覇すべく"我こそは"の意氣をもつて起て』との激勵の辭に次いで修了生高木君は『訓練所の一日』河本君は『訓練生活の體驗と青年諸君へ[illegible]』平原君は『訓練所教育の中心と目標』の演題の下に夫々身をもつて體驗して來た帝國海軍の傳統精神と生活を述べ一同を感激せしめ『諸君よ我等に續け』と絶叫して多大の感銘を與へて[illegible]に移り、最後に河野課長の訓辭と時局講演あつて同五時『[illegible]』を盛大裡に散會した

日午後二時市會議室に於て總代會を招集、羽鳥會長以下各總代出席、會則變更、業務細則制定並十九年度事業收支豫算並[illegible]、課金の徴收方法、借入金付金の最高限度の四件を附議可決して三時過散會した

海志座談會

【汐止】臺北州汐止街では海兵制度實施の趣旨徹底を期し、海軍の一員としての[illegible]力を把握せしめ、皇國軍人の榮譽と[illegible]を喚起せしむる[illegible]三月二十五日午後六時より街役場會議室に於て海軍志願兵座談會を開催した、出席者は官衙長各團體長各協議會員及び目下歸鄕中の海軍志願兵第一期生八名並に第二、三期生十五名で先づ國民儀禮、首唱者街助役の挨拶の次で第一期生林益松君の訓練所生活の體驗發表があつた、それにつき各出席者の質問があり最後に先輩者、奧村末吉氏が二十三年前の海軍志願の懷古談をせられて感[illegible]一層喚起された、來賓[illegible]の辭として上野[illegible]部長が入隊後の身上家族等の保護は銃後[illegible]として盡すべく安心して軍國に御奉公すべきことを言及し、松下朝[illegible]氏が[illegible]の必要と國語の常用及[illegible]を强調して午後九時閉會した

臺南農業會總代會

【臺南】臺南市農業會では二十五

海軍特志訓練所修業者出發

【馬公電話】今般海軍特別志願兵訓練所を修了した澎湖廳下出身〇〇名は近く海兵團に入團の筈で、二十八日官民多數の見送りを受けて出發した

獻金の花二束

【宜蘭】宜蘭市旭國民學校高等科二年イ組では教室に竹筒を置いて名目が小遣を節約しては貯めて居たが今度開けて見た處四十四圓二十三錢あつたのでこれを國防獻金にと市長室へ寄託した、同校初等科三年ロ組のよいこども達もみんなで出し合つた五圓六十八錢をこれも國防獻金にと同様に寄託した、この日臺北州[illegible]組合宜蘭市支部でも組合[illegible]に依り總額金六十九圓九十七錢が生じたので陸軍國防獻金にと同様に寄託した

宜蘭商工會議所總會

【宜蘭】宜蘭商工會議所では二十七日午後四時から警防團本部樓上に臨時總會を開催、市からは明知市長、満木助役以下關係課長以下役員並に議員出席、左記の議件に就て審議いづれも原案通り可決確定を見た

報告事項　[illegible]商工會議所[illegible]會及び臨時總會經過報告の件

決議事項　一、昭和十九年度收支豫算（四、五月分）の件　二、退職給與積立金收支豫算の件　三、同年度内借入金の件

清水伍長以下の市葬

【屏東】今次聖戰完遂の途上赫々たる不滅の武勳をたてて第一線に於て惜くも名譽の戰死を遂げられた故陸軍伍長清水五郎、故陸軍兵長久間[illegible]正、故陸軍軍屬吳天[illegible]、故海軍軍屬倉知一技、同[illegible]五氏の英靈を弔ふ屏東市葬は廿七日午後三時より屏東高等女學校講堂に於て神式によりいと嚴粛に執り行はれた、式場には[illegible]高雄州知事、[illegible]、屏東市[illegible]會分會長他各代表の來る[illegible]を以つて開式された、祭壇に英靈の遺骨と共に英姿が安置され嚴かに次いで齋主高橋阿緱神社社司祭詞を奏し、神田[illegible]長、小村高女校長、州知事代理[illegible]部長、[illegible]長、[illegible]屏東市[illegible]會分會長、日婦[illegible]本部長代理[illegible]會長等の弔辭に次いで[illegible]各方面より寄せられた弔電披露、參列者各代表の玉串奉奠があり終始嚴粛裡に同五時終了した

鬪農産技術陣 5

甘藷の戰力價値

品種改良に平間氏の功績

【嘉義電話】嘉義農事試驗場嘉義支所に通ずる坂道を上りながら『昭和の青木昆陽』といはれた甘藷の神さま平間惣三郎氏の功績に今更深い感謝の念が湧くのを禁ずる事が出來なかつた、甘藷が米英を撃ちのめす武器として登場する前、すなはち甘藷が唯に豚の飼料としてのみ利用された時代、ひとり嘉義農事試驗支所に於て甘藷の研究をした平間惣三郎氏…甘藷が"決戰戰力"として天翔ける今日の日のために[illegible]、甘藷の品種改良に没頭し臺灣甘藷改良品種として臺農一號から三十三號までを提供して昨秋卒然として逝去した嘉義支所長平間惣三郎氏…記者が訪れる嘉義[illegible]支所には昭和五年[illegible]を卒業して以來平間氏の片腕となつて今日のため甘藷の科學的增産の研究をした

佐藤松吉　技手が平間氏の衣鉢をついで今尚孜々その研究に從事してゐる筈だ、[illegible]へつつ辿りついた試驗支所構内は甘藷畑の茂りがいや深く、寂々としてゐた、しかしこの静けさの中では激しい闘ひが眼に見えない火花を散らしてゐるのだ、試驗に一歩踏み入れた記者の眼に佐藤氏が[illegible]甘藷を『[illegible]』に[illegible]して[illegible]させて[illegible]試驗をしてゐる必死な姿を映つたのである

『**甘藷にして**　見れば[illegible]以上に[illegible]を太らせることも[illegible]、まして[illegible]の[illegible]を高める必要もない、要するに子孫を繁殖させて行けるだけのものがあれば[illegible]わけですが、われわれは甘藷[illegible]が必要とする以上のものをあげ得ないとの[illegible]をききます、しかし私はさういふ方に申上げたい、不良者を育てるのは元來[illegible]に手間をかけねばならないものであるといふことを――優良品種は先程申上げましたやうに自然生の甘藷を不良にしたものですからそれだけに[illegible]管理に手が要る、その[illegible]を惜しむものは[illegible]期の[illegible]が得られない結果になります、[illegible]であるとしてもその[illegible]

含有量に　於て[illegible]は廿六%、在來種は七%から十六%見當で無水酒精一石を造るに在來種生藷三千斤要るところを[illegible]は二千斤で[illegible]から[illegible]をとるべきは勿論のことです、しかし甘藷の研究に關する限り只今までは品種改良を除く一部完成したたけで今後に殘された課題は[illegible]あるのです、そこでこの試驗所では今年から[illegible]品種の改良と[illegible]して[illegible]期と收穫期の[illegible]

在來種に　比し[illegible]を期待してゐるのです、そこで甘藷の品種改良の必要がおこりますが、この品種改良といふのはいはば甘藷の不良者を創ることの謂なのです、過大な塊根や、その中の成分にわれわれの期待する高い

澱粉化を　もたせることは明らかに甘藷の自然的な生態では[illegible]ないからね」佐藤氏はポツリ／＼と語るのである。「ところで天然の生態を保つてゐる甘藷はなかなかわれわれの期待する大きな塊根と高い澱粉價をもつてゐない、すなはち[illegible]この試驗支所では[illegible]この優良品種を創り出すために[illegible]主として人工交配の方法により[illegible]良をなした[illegible]のやうに三十三の[illegible]品種を出しました、これらは現在各地方に[illegible]普及を見つつある[illegible]は[illegible]へません[illegible]一部農家から[illegible]に於て

堆肥の施　用試驗にも主力を注ぐことになつてゐます、甘藷の飛躍的增産が緊急に完成されねばならぬ絶對的要求のある反面臺南州の如き[illegible]の關係をもつところでは植付時期と收穫時期が重大な影響をもつし、更に栽培面積に對する關係は[illegible]に對する品種を要求し、[illegible]と[illegible]の比較が必要となりますから……』

人工交配　もして結實させることで一年、第二年目に實生品一つの手段として[illegible]硝子と金網で[illegible]のいたづらを防ぎ、更に周圍に二寸角の『[illegible]』[illegible]のなかでピンセットを[illegible]

既成品種　をタネに[illegible]ひつつ、一方では[illegible]は[illegible]の[illegible]に細心を[illegible]に入つたと見てよいだらう、いま[illegible]しい[illegible]を果すために試驗所の[illegible]所は[illegible]から更に進んで[illegible]と[illegible]を[illegible]仕事を[illegible]、とんだのだから試驗[illegible]目に入つて優良[illegible]の仕事の上に更にお百姓さんの研究しなければならない目まで[illegible]第三年目から第五年

さうな系統　が十四品種出來て居ります、これは現在地方試作中で[illegible]の選びに至つてゐませんが、この中から現在の[illegible]品種を[illegible]する品種が現はれるだらうと期待してゐます」かう語を結んだ

佐藤氏は　静かに眼を[illegible]研究に[illegible]した、寂々とした研究にあつて烈々たる研究の意思を[illegible]中深く[illegible]、しかも[illegible]に、そしてあくまでも冷靜に試驗研究を一つ一つ[illegible]に積み重ねて行く試驗[illegible]の姿、その身に[illegible]くしみわたつた土の[illegible]ひ――そこに記者は[illegible]と寸分違はぬ一途な[illegible]しい[illegible]を[illegible]んだ

竹材パルプの世界的研究

臺中州工業試驗所の決戰使命

現在迄つ

[illegible]は[illegible]日と共に[illegible]な[illegible]を[illegible]する[illegible]、[illegible]と[illegible]の[illegible]でありｌ、一大[illegible]であると[illegible]することも出來る、從つて[illegible]に至つては出來るだけ多くの[illegible]を生産する[illegible]、それには[illegible]れた土壤と[illegible]から生産される[illegible]以外捨てられたものを拾ひ上げ、不用なものを活かし、或は別の形を變へて[illegible]を造り出すことをへなければならぬ、其處に我等の使命がある[illegible]臺中州工業試驗所の[illegible]る、早い話が[illegible]になくてならぬ〇〇にしてもあれでよいか、モット[illegible]にモット高率的に[illegible]出來れば、それだけ[illegible]を増すことになる、我々の今やつてゐる方法は人の不可能としてゐる方法である、然し[illegible]の上には凡そ可能な[illegible]つつある、此の試驗は十數年前から[illegible]が手がけたものであるが、其の後

竹材パルプ

[illegible]臺中州に來て竹林の豐富なことに驚きました、それと同時に、竹林パルプに目を付け、[illegible]て[illegible]辛苦の上、完全なパルプを造り、パテントを取つてゐますが内地では既に之によつて

硝化纖維

[illegible]を[illegible]し、一部は[illegible]に一部はセルロイド其の他に利用されてゐます、此の竹材パルプに就ては、[illegible]明治時代東大の二國工學士が[illegible]に[illegible]の[illegible]田の大[illegible]が多少研究されたものであり、世界を見渡しても同[illegible]美人ライト[illegible]に[illegible]て[illegible]ものです、然しそれも[illegible]的なものらしく、先づ竹パルプに

纖維植物

ローゼル

[illegible]植物としてローゼルは[illegible]に發見した植物である、其の[illegible]は[illegible]で[illegible]より[illegible]かに[illegible]れたものが[illegible]されてゐるか、如何せん現在の[illegible]に[illegible]では[illegible]に[illegible]されてゐるかも同時[illegible]に[illegible]出る[illegible]もあると思ふ、面白いことには此の[illegible]が[illegible]代用として第一線では利用されて

專門的な

ことが必要でしたらそれを御覽下さい、[illegible]と云ふことも考へてゐますが[illegible]では竹林が[illegible]高價なので[illegible]にならず、[illegible]にでも行けば、ビルマには九州全島に匹敵する[illegible]な一大竹林があり、然も其の竹林の中には[illegible]もあり、クリークもあり、[illegible]に[illegible]で十分全部化する可能性がある譯です

食料品の加工

[illegible]の乏しい折柄、食糧分野にもいろ／＼工夫して、[illegible]の高い物を[illegible]の[illegible]士に、[illegible]の子供に供することも必要であらう、[illegible]の一部で用ひられてゐる[illegible]、之は[illegible]を[illegible]して[illegible]油のそ[illegible]以上[illegible]たものであるが、[illegible]セント生かして食べられる所に價値があり、[illegible]い中にうま味があつて一般向きの食料である、納豆の如きも[illegible]では餘り普及されてゐないが、[illegible]て[illegible]されるものと一寸も[illegible]納豆は、東京で[illegible]納豆として[illegible]試驗所で[illegible]した[illegible]によるもの[illegible]に[illegible]、[illegible]が[illegible]くなると飲料水が欲しがられますが、[illegible]で造つた[illegible]シロップは[illegible]工會社で製造され[illegible]を[illegible]してゐる譯です、[illegible]

諸工業への協力

以上は之までに試驗を終へ、又は既に試驗中のものであるが、昭和十九年度の研究として[illegible]した諸工業に協力したいと思つてゐる、之は[illegible]上司の決定も受けて居らぬが、[illegible]地から[illegible]油が來ないとすると、どうしても[illegible]に依存したければならぬ、[illegible]を使用する以上は口に[illegible]ものが欲しい、又近來味噌がいろ／＼の[illegible]を受けて困るさうで、之も何んとか[illegible]したいものにしたい、之等は小さな問題であるがモット大きな工業で[illegible]ある點に見受ける、[illegible]も[illegible]が[illegible]くなつて[illegible]が[illegible]しく[illegible]するものであり、〇〇、〇〇の如きも[illegible]りはないか、かうした事に[illegible]協力するのも本試驗所の使命ではないかと思ひます

少年は戰つてゐる

祖國の急に赴く意氣凛烈

志願佳話三つ

【潮州】[illegible]の少年兵目ざして突[illegible]する少年達に[illegible]な[illegible]を[illegible]らせ『我今征かずんば……』と[illegible]たる米英[illegible]の[illegible]に"勝ち抜くために"[illegible]の[illegible]に身を[illegible]する[illegible]に志願と少年兵は[illegible]してゐる、高雄州潮州郡の初の[illegible]をかち得て[illegible]の[illegible]に見事合格した潮州郡[illegible]森乙一氏の長男茂昭君（高雄中學三年修了）及び潮州國民錬成所主事山本由己氏の五男[illegible]君（[illegible]三年修了）を訪へば、森乙一氏は[illegible]を[illegible]ひで包みながら

皇國の[illegible]を決する此[illegible]に於て國民全部が第一線に立つた心持ちで職場、[illegible]で御奉公しなければならぬ事は誰でも心得て居りますが從來私の家からは一人の軍人も出て居りませぬため全く申譯無い氣持で居りましたが幸ひ今回息子が海[illegible]甲種飛行豫科練習生として採用されました事は親としても聊か肩身が廣くなつた[illegible]がします息子の奴は前回も願書を出したのですが年齢不足で駄目でした、去る一月卅日漸く滿十五歳になつたので志願したら幸ひ合格したので本人も非常に喜んで[illegible]

實は後一年で中學を卒業するのだしそれからでも遲くはないと言つたら息子の奴は今の戰局はそれを[illegible]てゐぬのだ、入隊即ち決戰場へ羽搏くのだ、之が最後の別れだと[illegible]く決心して居りますので親としても此の心構へがお出來て居ればと內心喜んで居ります、[illegible]くからには一命を捧げて皇國のため[illegible]す[illegible]だ[illegible]です

[illegible]昭君　現下の[illegible]は我々若い者が先に立ちウンと働いて一日でも早く鬼畜米英を[illegible]せねばならぬ[illegible]は平素から考へてゐたし年齢も漸く達したので志願したら幸ひ採用される事になりこんなうれしい[illegible]はありません、一日でも早く訓練を終へ第一線に飛び立つ日を樂しみに出發致します、第一線に行つたら早速敵機に[illegible]を喰はせ思ふ存分御奉公したい一念で其他の事は何も考へてをりません

山本主事談　僕は屏東師範の壯行會に行くとて今出ましたから私が日頃考へて居ります事を申上げませう、私には七人の男の子があつたのですが長男、次男、三男は天折し四男は近衛で兵隊に行けず士族として此上なき恥辱と戰局の進展につれ私の胸は針で刺される[illegible]な思ひでしたが五男がやつと合格してくれましたし六男保（[illegible]一中二年在學）が少年航空兵を志願して兄に續くべく非常な頑張り方です、征つたからには遲れをとるな、日本男子の面目にかけてもと先刻話しておいたと所です

食糧營團台文出張所開所式

【新豆】食[illegible]の强化を[illegible]に[illegible]せんとするため政府は[illegible]に食糧營團の設立を斷行しかに於ける元の米穀[illegible]組合を吸收し四月一日より業務の開始をすることとなりたるに伴ひ臺南州台文郡[illegible]米配給組合は之を解消し臺灣食糧營團臺南州支部台文郡出張所を新に設置され、去る二十六日を午前八時[illegible]出張所所長林田守正外職員六十餘名台文神社に於て[illegible]式を擧行[illegible]いて[illegible]所に於て[illegible]林田出張所長より一場の訓示を與へて、林[illegible]係長は職員總代[illegible]あつて午前九時半解散した

高額貯蓄未濟者一掃運動

【宜蘭】[illegible]宜蘭市團では廿七日から[illegible]する高額貯蓄未濟者一掃運動に出動のため廿五日午後二時から市[illegible]に[illegible]を開催、出動[illegible]の[illegible]其他を協議したが、團長以下役員が[illegible]日出動することに決定した

國語塾修了式

【宜蘭】地域組織運營に、國語普及に成果を見つつある宜蘭市本町區會では、昨年十月[illegible]以來六回月の課程を了へた國語塾の修了式を廿六日午後二時から市公會堂に[illegible]行、市から教育課長其他[illegible]區會長以下多數出席盛儀であつた

お花で日華親善

南京還都記念に活花會

【厦門支局特電二十六日發】來る三十日南京政府還都四周年記念日を迎へ、厦門でも盛大な記念行事が幾多催されるが、厦門日本婦人會では會長[illegible]女史の肝煎りで、日本華道を通じての日華親善を[illegible]らうと、[illegible]て中國婦人令嬢の有志を集め、盛花及び生花の稽古を[illegible]いて來た處、[illegible]の好成績を收めたので、愈々二十六日より[illegible]を催[illegible]することとなり、公演に先立ち、二十五日午後三時より、李市長並に[illegible]を始め日華官民代表百餘名を會館に招待し李市長の令嬢國[illegible]さんを始め、中國婦人の活けた二十餘瓶の盛花と生花の展示會を開いたが、僅一月の稽古とは思はれぬ程の見事な出來榮に來觀一同は感激の瞳を見はつた、併し技師はともかく更に見るものをして一入深い感銘を與へた所は之等小さな一瓶の水盤にもられた百合や撫子或は桃、木蓮の鮮やかな盛花が宛かも大東亞共榮圏に[illegible]と咲き誇る大東亞民族共榮の姿を象徴するものの如く映じた事であらう、終つて一同は茶話會に入り日華人[illegible]を交へていとも和やかな[illegible]のひと[illegible]を過した

物動事務懇談

【高雄電話】高雄州物動事務懇談會は二十八日午後一時より州會議室に於いて府より加藤[illegible]官、州より高澤[illegible]部長以下物[illegible]係各課長、係長出席して開催、加藤[illegible]官より物資需給についての說明ありたる後懇談をなして同三時過ぎ散會した

礁溪農業會總代會

【宜蘭】礁溪庄農業會では二十九日午後二時から庄役場會議室に於て第一回通常總代會を開催するが郡からは[illegible]郡守以下係員が出席する筈

健民指導醫連絡會

【高雄】本島徵兵制度に即應し健民健兵[illegible]に遺憾なきを期する爲皇奉高雄州支部では本部より丸山[illegible]官を迎へて四月三日屏東市、同四日高雄市、同二十日[illegible]郡に於て健民指導醫連絡會談を開き各市郡の健民指導醫を保健の會場に集めて丸山[illegible]官を中心に健民健兵問題を繞る諸般の施策に就き懇談することになつてゐる

國語で立派な國民

"になりませう"國演會

【屏東】國語を學ぶのも立派な御奉公ですどうぞしつかり勉强して下さいと皇奉屏東郡支會では十八年度に於ける郡下各街庄の國語普及の國語普及狀況を調査のため郡[illegible]の國語講演會を二十七日午前十時から各街庄に於て開催した此の日大串郡守は[illegible]、[illegible]、木[illegible]及び大川國民學校長を隨へ潮州街國民學校講堂に[illegible]隣接屏東街、[illegible]二、五、六及十七部落の塾生百二十餘名が出席し先ず國民儀禮次に田邊[illegible]が講師になり塾生に讀本を朗讀せしめ更に塾頭の話方教師を行はせ郡[illegible]は塾生の[illegible]、發音の正否、[illegible]の有無[illegible]に就き一々點數をつけて各[illegible]の成績を作製したが殊に國勢十[illegible]さん、林木火（[illegible]）さん、林氏阿玉（[illegible]）さんの老人の國語は却々流暢で[illegible]外の好成績を收めて[illegible]官を[illegible]せた最後に大串郡守から激勵の辭を與へれば「私共塾生は國語を學び立派な日本人になります」と[illegible]く誓つて正午[illegible]會[illegible]し[illegible]た、尚この日[illegible]冬山庄五結庄及三星庄へも別の[illegible]を派遣し夫々[illegible]を行つたが優良な國語塾に對しては郡守賞を授與する[illegible]になつてゐる

國防訓練査閲

【屏東】屏東郡下の各街庄分會の國防訓練査閲は廿七日屏東街を皮切りに廿八日五結庄、廿九日冬山庄、卅日三星庄の順で實施される

戰列に立つヨイコ

部會のヨイコから慶村のヨイコへ――お便りと一緒に寫眞も拜見しました、みんなとても元氣さうですね、なんだか私たち恥かしいやうな氣がしました、矢張鍛錬の結果ですせうネ、私たちも最近いろいろ鍛錬してゐるますからそのうちには立派なからだになると思ひます、……君たちの部落では近頃電信を習つてゐるます、兵隊さんになつてすぐお役に立つやうに、手旗信號も習つてゐるます、みんな揃つてカチ／＼とやるんですが、もうモールス信號をすつかり憶えました、それですつかり嬉しくなつて隣の信ちやんと[illegible]にツーツートンと話をして先生に叱られました

【宮原は電信を習ふ部會のヨイコ】

より善き健全娛樂を

松井桃樓氏を迎へ懇談

【高雄】戰ふ銃後に健全なる娛樂を興るべき本島演劇界は[illegible]決戰非常措置の實施によつて益々その使命が加重されるが、從來の脚本には幾多檢討刷新を加へるべきものがあり、殊に決戰下國民の正[illegible]に資すべき健全强力なる新脚本の[illegible]生面を絶對に必要とされてゐるので皇奉高雄州支部では二十六日午後二時州廳内皇奉州支部に臺灣演劇協會主事松井桃樓氏を迎へて演劇に關する打合會を開いたが此の[illegible]支部より庄司[illegible]局長以下[illegible]係員並州下青年の劇團係者が多數集つて[illegible]なき意見の交換をなし多大の成果を收め同四時散會した

[illegible]が[illegible]東街は[illegible]日午後一時半モンペ姿の婦人會員二百餘名が[illegible]東國民學校運動場に集合先づ大串支會長の査閲開始の宣言次に山田分會長の人員報告[illegible]の後救護法および[illegible]架搬法を行ひ好成績を收めて同三時半終了散會した

[illegible]早期[illegible]付地方に於ける[illegible]目下實施中にして、園田郡守、松屏州技師を先頭とする[illegible]一行は二十六日早朝より大湖庄管内社子角、四[illegible]坪、水頭[illegible]の各部落の地方を行脚し、田作適期[illegible]務の[illegible]國民[illegible]の戰ふ[illegible]の[illegible]姿を視察しては之等の職士を前に耕作の徹底、除草[illegible]等の指導演說、講演並[illegible]を呈して大いに皇民魂を鼓舞したが[illegible]行は途上[illegible]の[illegible]雨に遭うたが、一行は意氣益々[illegible]部にして遂に一日の豫定の行脚を終へ二十七日は更に郡下[illegible]地方を行脚した

增産督勵行脚

【大湖】戰爭に勝ち抜く食糧の增產確保を最も緊急とする秋、新竹州大湖郡では本年第一期作水稻の

海軍特志訓練生晴の壯行會

【[illegible]電話】軍艦旗の下海の決戰場へと殉國の熱血を滾らせつつ先輩の若櫻に續かんと海軍兵に踊[illegible]

農業會通常總代會

【宜蘭】宜蘭市農業會第一回通常總代會は二十七日午後二時から市公會堂に明知會長以下役員全員並に總代及總代四十二名出席（定員三

草鞋脚絆の郡守さん

豐原郡の米增産指揮

【豐原】臺中州豐原郡では米穀增產を圖るべく水稻正條密植を徹底的に指導する爲め二十四日より米穀增產運動週間を實施し谷口郡守[illegible]部長[illegible]郡守自ら陣頭指揮に當り街庄役場職員を督勵員として農家を訪れて指導し[illegible]家と協力一致正條密植百%を目指して增產に全力を擧げてゐる

全東芝の新商標！
マツダランプ・眞空管・通信機・芝浦モートルその他

ラジオ

第一放送

◇七・〇〇　日本の風土と美・[illegible]

◇〇・二〇　青年教育、軍國歌謡[illegible]

◇一・〇〇　挑戰するアメリカの女、放送所の時間

◇六・〇〇　少國民の時間　シンプン、音樂「歌よ少年魂」

◇六・三〇　對談　一、働く女性の[illegible]歴　二、川西航空[illegible]

◇七・四〇　講談……[illegible]、連續放送劇「鞍馬天狗[illegible]」（二）

第二放送

◇六・〇〇　少國民の時間

◇六・二〇　家庭學習の時間　お話"前方から[illegible]つて"

◇六・五〇　みんなでうたひませう"[illegible]中佐"

◇七・四〇　話"[illegible]印度に進入す"

◇八・〇〇　軍事の話"[illegible]"

◇八・四〇　話（臺灣語）"米英人の正體"

◇九・〇〇　南管"[illegible]"

◇九・〇〇　[illegible]

◇九・二〇　[illegible]

◇九・三〇　[illegible]

倭水軍

(111)

村松梢風作

中一彌畫

歸る人（三）

朝鮮は半島國であつて、日本の如く、四面海を以て圍まれてはゐないから、古來其の民族は日本國民ほど海洋思想が發達してゐた譯ではないが、それにも係はらず、朝鮮の水軍は案外早く發達したのであつた。

朝鮮の水軍の起原は、高麗朝が蒙古の侵略を受けた時代からで、高麗朝は[illegible]の都を江華島に遷したところが、蒙古軍は僅に一條の水に遮られて、遂に江華を侵すことが出來なかつた。この水によつて外寇を防いだ經驗から、初めて水軍が發生したのである。

次に、蒙古の世祖（忽必烈）は日本遠征の目的をもつて、高麗王朝に對して、强制的に一千艘の大船隊建造を命じた。蒙古の勢力强大であるから、高麗朝では多大の負擔を忍んで是れを實現しなくてはならなかつた。其の後も蒙古は朝鮮に對し益々建艦を强制した。文永、元弘の兩役に日本へ來寇した蒙古の幾十萬の軍兵が搭乘した大艦巨船は實に其の悉くが朝鮮で建造された船であつた。

[illegible]、朝鮮の造船事業は極度に發達した。然るに、忽必烈の日本遠征は、二度共大失敗に終つたが、今度は反對に、朝鮮に對する倭寇の[illegible]が元寇以後において、特に急激に猖獗を極めるやうになつたのは當然の結果と云はなければならないのだつた。倭寇侵略は年々[illegible]を振ひ、沿岸のみならず半島全部を[illegible]するやうな[illegible]らしい現象ではなくなつた。[illegible]を[illegible]に於いて朝鮮では、倭寇を[illegible]くてはならなくなつた。そこで、新たに水軍の制度を立て、各道に[illegible]て水軍を配置したのである。戰艦の型式には、大猛船、中猛船、小猛船等の名稱があり、火砲其の他の兵器も發達した。各道に左右水使を置き、水軍の兵力は五萬以上と稱せられた。

朝鮮の水軍は、斯うして政府の下に組織せられた强大で且つ整然たる水軍となつた。此の點は海賊として發達してゐる日本の水軍とは著しく趣を異にしてゐる。もつとも其の朝鮮の水軍と雖も、平時にあつては、矢張り海賊的行爲を常習とするのだから、倭寇的にはさまで[illegible]りはないのである。

ともかくも朝鮮の水軍は非常な發達を遂げたけれども、それは遂に日本の海[illegible]には敵し得なかつたのだ。そして高麗朝は遂に倭寇のために亡ぼされたのだつた。

李朝の天授年間――足利義滿の時代――朝鮮は高麗の恭讓王の治世で、倭寇の[illegible]も猖獗を極めた時であつた。

其の頃、水原の人李成桂は、倭寇と戰つて屢々功を立てた。或る時、智異山に倭寇と戰つた。倭寇は峰上に地を占め、彼我の距離は僅に二百歩を出なかつた。すると倭寇の[illegible]兵中に一人の豪勇者が居て、[illegible]の面前へ飛び出して來て、後ろ向きになつて、身を屈めてピシャ／＼と叩き[illegible]、[illegible]を[illegible]した。成桂は是[illegible]を[illegible]て大に[illegible]り、片羽の矢を番へて[illegible]を[illegible]した。[illegible]、[illegible]て[illegible]を[illegible]し[illegible]、成桂は一[illegible]に[illegible]を[illegible]した。一矢で[illegible]されたのはもつけなかつたが、[illegible]に向つて尻を叩いて見せたところなどは海賊の面目躍如として[illegible]る。

東寶
增産貯蓄　捨身で當れ
婦人倶樂部の人氣娘モンペさん徹底增産を叫ぶ
大映明朗增産映畫
モンペさん
演競　月丘夢路・眞山くみ子・澤村貞子
宇佐美淳・高山徳右衛門・岡村文子
文化映畫　北の兵隊
明卅日封切　四月六日まで
料金上1.40　下.90
東寶　國際館

任務は防空と增産！
大映超大作時代劇
遊ばしる愛國の至情剣をひっさげてついに起つ風雲兒！
海峡の風雲兒
嵐寛壽郎　月形龍之介　戸上城太郎　東龍子
明30日封切
九〇セン　税共
大世界館

臺灣案內
時計　[illegible]
石堂　[illegible]
洋裁と[illegible]
遠藤　[illegible]
寳務　[illegible]
洋裁　[illegible]
タイプ　[illegible]
タイプ　[illegible]
タイプ　[illegible]
女子　[illegible]
女子　[illegible]
タイプ　[illegible]
太平　[illegible]
生徒　[illegible]
女中　[illegible]
高女　[illegible]
女事　[illegible]
三月　[illegible]
三月　[illegible]
男子　[illegible]
海記　[illegible]
寫眞　[illegible]
寫眞　[illegible]
裸職　[illegible]
給仕　[illegible]
留守番　[illegible]
貴家　[illegible]
工場　[illegible]
讓受　[illegible]
請負　[illegible]
寫眞　[illegible]
洋裁　[illegible]
洋裁　[illegible]
タイプ・オルガン　[illegible]
ピアノ・オルガン　[illegible]
産婆　[illegible]
調査　[illegible]
引越　[illegible]
引越　[illegible]
調食　[illegible]
のせ　[illegible]
農事　[illegible]
農業　[illegible]
調査　[illegible]
衣類　[illegible]
葬儀　[illegible]